

文久壬戌歲春三月再起

起止錄 文久二年

三月

廿八日 四ツ時過、品川殿方紙面到来、追付可罷出旨二付、罷出候所是日式日、御三人揃公事場付御用定役再役被 仰付候旨、御用番方仰渡候旨被仰渡、直様公事場奉行衆等夫々廻勤、直戻り、品川殿、富田殿、横山殿、山十馳走三成、圀橋方二而昼飯、多賀殿、稼亭江一寸寄、篠原殿、早川義三郎、吉村鉄平、土田、青木、吉村源七郎、磯部、磯野、織田殿、高橋栄太郎、進士江一寸寄、内藤誠左衛門、酒井市九郎跡北川亥之作、脇坂小川三逢、市川承之助、河合波江、辻安兵衛、本多殿、植松馳走三成、多田、瀧沢、堀馬左衛門、中西、近藤江行、永井江行、夕七ツ半時過二帰、庭伝、斎判江一寸行、暫咄帰、中惣来、咄、夜四ツ半時頃二去、寝、

廿九日 五ツ時頃二起、小学素読生山外佐吉授、近藤鋼作来、暫咄等去、小川来、続而北川七之助来、海防（破損につき判読不可）、昼後皆去、勤方帳面しらべ等、八ツ時過方又斎判来、咄、同人連而小川（破損につき判読不可）、同人与暫咄、七ツ半頃二去、（以下破損につき判読不可）

四月

二日 六ツ時過二起、六ツ半時頃二近藤鋼作誘二来、役所江出、御用番横山殿<sup>1</sup>取次并檢使方御用被仰渡、座列内藤誠左衛門之次之旨、植松平左衛門方談、誓詞ハ前誓詞用候旨、且奉行衆詮義之趣有之二付、当分檢使御用先指除候様、同人を以被仰渡、是日出揃日、出牢者耆人有之、九ツ時頃二済帰、稼亭江寄、暫咄、直二内藤江行暫咄、北川亥之作江一寸行、脇坂江行暫咄、河合、市川江一寸行、辻安江一寸行、坂井宇右衛門

<sup>1</sup> 御用番横山殿<sup>1</sup>加賀藩年寄役、いわゆる八家の一つ横山家の十一代当主横山隆平。

江行、兩人共留守、カギ番上田久作江行、小山良左衛門江行、暫咄、植松江行、暫咄、多田江行、瀧沢江一寸行、岡三江一寸行、堀馬左衛門江一寸行、中惣江一寸行、兩人共留守、近藤鋼作江一寸行、永井江寄、暫咄、早権江一寸行、七ツ時前二帰、続而又多田江行、辻安、毛利来あり、碁亭主与式番打皆勝、七ツ半過二帰、続而又岡三江行、左次馬、小川、多田、早川浅之丞来あり、藤田平之丞も来あり、頼政知左衛門、小原御幸平七郎、跡二咄、夜九ツ時頃二帰、寝、

三日 五ツ時頃二起、小学素一人、近藤鋼作聞合二来、昼前二去、昼方中久江山本頼之趣有之二付一寸行、暫咄、佐野屋江一寸寄り、磯野江一寸行き、土田江一寸行き、早川儀三郎江一寸寄り、青木多聞江行、暫咄、山十江行咄、碁四番打、皆勝、晚二帰、直二圀橋方江祭二行、丹羽、稼亭来あり咄、謡独吟等、夜四ツ半時頃二帰、寝、

四日 五ツ時頃二起、小学素一人、小川、斎判来、謡、井筒平七郎、班女判大夫式番、跡二咄、昼後八ツ時頃二去、間二中久一寸来去、暫午睡、内藤誠左衛門来、暫咄去、起止録調、七ツ時過方せかれ連而漏浴二行、帰、稼亭来あり、将棋五番余勝負也、咄、夜九ツ半時頃二去、寝、

五日 五ツ時頃二起、素一人、是日過日役寄之宿御座候二付、夫々用意方等、昼九ツ時前近藤、青木、小山、堀、内藤、磯部追々二来磯野・脇坂兩人断、中惣跡方来、七ツ時迄御用談済皆去、髮結、せかれ素読温習<sup>2</sup>等為致、夕七ツ半時過方隣家早川江祭り経上ケ二行、謡独吟等、夜五ツ時過二帰、モ寝、

六日 六ツ時過二起、役所江出、是日御聞届有之、長殿御出座、十八人、昼八ツ時過方御吟味、取次耆人、口書耆通、夜八ツ半時過二済帰、寝、

七日 五ツ時頃起、漏浴二行、直二伴江寄、暫咄、帰、□次郎、安ま等来、是日祭り、

<sup>2</sup> 温習<sup>2</sup>くりかえし復習すること。おさらい。

<sup>3</sup> 長殿<sup>3</sup>加賀藩年寄役、いわゆる八家の一つ長家の十代当主長連恭。

人來用意等、昼後小川、齋判、永井、伴來、  
謡加茂判大夫、かきつはた清五郎、前後二圮  
橋并木下平之介來、跡二同咄、右ハ二階座  
敷二早川隱居様、齋判之奥様、御新造様、  
遠田奥様、福田道仙、浅のや久右衛門來あ  
り、隱居様三味線等、□去、夜四ツ時頃二  
階客皆去、是日丹羽斷、寢、

八日 五ツ時頃二起、御触留いたし等、四ツ  
時頃方役所江出、口書清書為読合、昼後九  
ツ半頃二帰、直二稼亭江寄、同人不快、咄、  
将棋、□□、夜六ツ時前二帰、おは泊りあ  
り、咄、寢、

九日 五ツ時頃二起、小学素一人、□□江行  
暫咄帰、庭木きり込等、昼方稼亭奥様來、  
尋而余稼亭江行、中平、圮橋來、同咄、夜  
七ツ時過二帰、又齋判江行、祭り、畑ノ息  
來あり、同咄、夜四ツ時前二帰、寢、

十日 □時頃二起、是日いと出ル、おは咄、  
四ツ時過方植松來咄、碁三番打、昼後去、  
髪結、せかれ素読、八ツ時過方奥山江寄桑  
刈等、暫咄、直二毛利江行、碁会、坂仙、  
森守、土谷、桑島、伴、佐藤他作來あり、  
余、亭主与碁式番打、此跡二咄、夜五ツ時  
過帰、咄、寢、

十一日 五ツ時頃二起、小川來咄、謡式番  
千手、望月、昼頃齋判來、同咄、昼後皆去、  
せかれ素読、起止録調、是日おは帰、八ツ時  
過方小川誘、多田江行、留守、坂仙江行、  
瀧沢來あり、碁瀧沢与□番、坂仙与式番、  
晚二帰、永井江行、留守、帰、夜モ寢、

十二日 五ツ時頃二起、小川來、謡通盛、夕  
顔式番謡、咄、昼頃去、瀧浴二行、帰、髪  
結、八ツ時頃方植松誘二來、連而板坂二郎  
大夫江行、板坂八三郎も來、井口之事二付  
相談等、植松与井口江行、申入方等いたし、  
晚二板坂江帰、又相談等、夜四ツ時過二帰、  
続而井口奥お脇來、先刻之相談事二付、  
又申入方等いたし、余、九ツ時前二寢、お  
脇等八ツ時頃二去、モ寢、

十三日 六ツ時過二起、役所江出、取次耆人、  
口書宅通、八ツ半時頃二済帰、稼亭江寄、  
暫咄、七ツ時頃方山十江行、中惣來あり、

山十与碁三番打、跡二咄、中惣、亭主与碁  
式番打、夜四ツ時頃二帰、寢、

十四日 五ツ時過二起、阿部右門來、碁五番  
打、昼頃去、かやずあゝ、間ニせかれ素読、  
畑大豆種為蒔等、晚ニ謡式三口、夜寢、

十五日 五ツ前二起、是日家内何茂宮ノ腰江  
行、独留守、掃除等、かやず終日あゝ、か  
ひこ桑三度かけ等、間ニ昼前方きさ來咄、  
昼後去、八ツ半頃二永井來、暫咄去、夜謡  
松風半分謡、五ツ時頃二家内帰、寢、

十六日 五ツ時頃二起、かやずあゝ、昼頃方  
阿部右門來、間ニ小学素一人、本行寺上人  
來、暫咄去、碁八番打、間ニ齋判も來、同  
咄等、夕七ツ半頃二皆去、続而永井江行、  
齋左、岡三、多田等來、謡、雲雀山三郎大夫、  
撰待平右衛門、平七郎、跡二咄、夜九ツ時前  
二帰、寢、

十七日 五ツ□□□、是日 御帰城、かへす  
あゝ、入払帳調并居成書付調等、髪結、夕  
七ツ時過方圮橋江一寸行、孝友堂□□□□  
帰二付行、逢馳走、直二七ツ半過方中藤江  
行同所右同斷、□縁女引受、祝□（破損につき  
判読不可）

十八日 六ツ時過二起、役所江出、取次耆人、  
□帰り昼後八ツ半過（破損につき判読不  
可）浅野川うくひつき瀬之所江行、うくひ  
逢振舞、晚ニ（破損につき判読不可）夜四  
ツ時過二去、寢、

十九日 □□頃二起、（破損につき判読不可）  
かひこ桑かけ等、是日も早朝方家内何茂桑  
摘二行（破損につき判読不可）間ニ齋判來  
見物、七ツ過二皆去、先是道仙來（破損に  
つき判読不可）夕永井去、かひこ桑かけ、  
晚ニ家内何茂帰、多田（破損につき判読不  
可）

廿日 田村知左衛門、千手逸次郎、望月平七郎、  
跡二咄（破損につき判読不可）続而北川來、  
謡藤戸七之助、木賊知左衛門、間ニ（破損に  
つき判読不可）磯野江行、七ツ時二御用談  
済帰、直ニ（破損につき判読不可）夜岡三  
江行、班女平左衛門、前二女郎花あり、半程  
方謡（破損につき判読不可）

廿一日 五ツ時頃二起、かやすあミ、間二小学素一人（破損につき判読不可）来、梅枝壺番、跡二斎判も来、阿部右門来、碁都合（破損につき判読不可）皆去、続而斎判江行、咄、馳走、七ツ半過方斎藤左次馬江行、多田逸来あり、明晩之コト雨月左次馬柏崎□□、□三番謡、跡二咄、夜九ツ時頃二帰、寝、

廿二日 五ツ時頃二起、かやすあミ、小学素一人、□□温習等、髪結、斎藤江行、暫咄、昼帰、起止録調等、せかれ連而上田玄伯江行、余□□、八ツ時過瀧浴二行帰、留守中先生来去由、かやすあミ并人來用意等、間二暫眠、七ツ時頃方小謡（破損につき判読不可）永井、岡三、斎判追々来、謡三番、雨月平七郎、柏崎判大夫、船弁慶逸次郎、跡二咄、夜四ツ（破損につき判読不可）、残り咄、九ツ半頃二去、寝、

廿三日 五ツ時頃二起、かやすあミ（破損につき判読不可）昼前二去、昼後近藤鋼作聞合二来、咄等、間二又、右門来、碁（破損につき判読不可）続而天神町米問屋江寄直二丹羽椎溪江行、咄、謡式番藤圖<sup>4</sup>、夕顔式番謡、昼頃去（破損につき判読不可）帰、寝、

廿四日 五ツ時頃二起、斎判来咄等、謡大原御幸知左衛門、阿漕□□、（破損につき判読不可）、昼後天神町方石引町江鶴間溪通り廻り米屋等詮義、堂形米五斗手形二而買調、直二小川行謡、夜鳥<sup>5</sup>、跡半分謡、三田村半助、北川七之助も来、誓願寺七之助、跡二咄、七ツ半頃二□□江一寸行、帰、斎判連而毛利茂八郎江行、咄、夜四ツ半頃二帰、寝、

廿五日 五ツ時頃二起、小川来、東岸居士壺番、咄、四ツ半頃二去、起止録調等、昼方永井江来ル、風呂屋之呉服屋来、用事之跡碁三番打、間二髪結、八ツ時頃二去、続而岡三江天神講満会二付行、小川来あり、中

惣、土谷、多田、永井追々二来、中惣与碁式番打、看碁等、詩独吟等、夜四ツ時頃二帰、モ寝、

廿六日 六ツ時過二起、役所江出、是日御聞屈、河内守殿御出席、定吟味五人あり、取次□□、八ツ半頃二済帰、稼亭江一寸寄、孝友堂江行、先生与暫咄、直二圮橋方江一寸寄、七ツ前二帰、入払帳調理并起止録調等、晩方瀧沢来、咄、続而斎判来、同咄、晩二瀧沢去、続而小川来、咄、夜四ツ時頃皆去、明日発足用意等、九ツ時前二寝、

廿七日 六ツ時過二起、北川誘、小川誘、三人連而野々市二而暫休、松任円八<sup>6</sup>方二而又暫休、水嶋<sup>7</sup>二而昼飯、小松二而蕎麦店江休、そば并昼飯残り給、一杯吞、瓢酒皆尽、是時七ツ時過頃、夫方なた<sup>8</sup>江廻り遊覧いたし夕景也、山代新屋源右衛門<sup>9</sup>方江夜五ツ時過頃二着、温泉浴湯、夜食認、其尽寝、

廿八日 六ツ時過二起、温泉浴湯、朝食後髪結二髪為結、山代あらや庭より山江登り、山代市中廻り湯本涌出ルケ所等見物、薬師観音之寺一見、昼頃あらや江帰、昼食後浴湯、午睡之後又浴湯、謡本ながめ謡クリ等、晩二一盃始、夜浴湯、蕎麦給等、四ツ時頃二寝、

廿九日 六ツ時過二起、浴湯、朝めし後出立用意等、五ツ半過方山代を出、田甫道通り動橋<sup>10</sup>江出、月津<sup>11</sup>二而茶製し居ル□見物、

<sup>6</sup> 松任円八ハ餡衣餅（あんころもち）の製造・販売で有名。元文二年（一七三七）創業したといわれる。

<sup>7</sup> 水嶋ハ手取川岸の村（現在白山市）。手取川増水時には交通が遮断され、大部分はここで滞在したため数軒の宿屋があったという。

<sup>8</sup> なたハ那谷寺のこと。高野山真言宗の古刹。江戸時代には三代加賀藩主前田利常が後水尾天皇の命を受け、岩窟内本殿、拝殿、唐門、三重塔、護摩堂、鐘楼、書院などの再建にあたったといわれる。

<sup>9</sup> 山代新屋源右衛門（あらや）ハ山代温泉の湯宿。現在も「あらや」として有名な温泉宿。

<sup>10</sup> 動橋ハ大聖寺藩領。北国街道の宿場（現在加賀市）いぶりは「ゆする、揺り動かす」意味の方言。

<sup>11</sup> 月津ハ大聖寺藩領の村。現在小松市、柴山湯を囲む地域。現在、「加賀棒茶」で有名な丸八製茶場など、このあたりは茶の栽培および製茶がさかんであった。

<sup>4</sup> 藤圖ハ藤戸のことか。

<sup>5</sup> 夜鳥ハ直のことか。

夫方三湖台江登り、瓢酒を飲、浅井なわて  
之方二而長九郎左衛門旧臣（破損につき判  
読不可）小松二而蕎麦店江休、そは給、水  
嶋江未行昼飯認（破損につき判読不可）松  
任二而□□□、野々市二而□□□□前之由、  
四ツ時頃帰宅、（破損につき判読不可）

晦日 四ツ時頃起、食後小川来、咄、道中之  
割符（破損につき判読不可）昼後午睡、八  
ツ時頃方近藤鋼作来、続而斎判来咄、八ツ  
半□皆去、入払帳しらべ等、七ツ過方西坂  
善藏江行、好文園七回忌茶湯、先生、圀橋、  
岸井静斎等来あり、咄、夜六ツ半頃二帰、  
モ寝、

## 五月

朔日 五ツ時頃二起、庭廻り斎判江行、暫咄  
帰、かやすあみ、昼起止録調、御触留いた  
し等、髪結、続而八ツ時前方小川江行、北  
川来あり、同暫咄、亭主連而斎藤左次馬江  
行、斎判行あり、跡方岡三来、謡三番、三  
井寺知左衛門、雲雀山左次馬、熊坂判大夫、跡  
二咄、斎判先二去、夜五ツ半頃二帰、寝、  
二日 六ツ時過二起、役所江出、取次老人出  
し先、口書老通、昼後八ツ半過二済帰、続  
而斎判江行、同所是日嫡子津左衛門江戸方  
帰、咄、夜五ツ時頃二帰、寝、

三日 五ツ時頃二起、朝半日まき惣躰総ノ巻  
手伝等余式連まき、昼後かやすあみ、斎判江  
行、暫咄帰、端丈吉江肴遣ス紙面調等、七  
ツ時過方小川江行、斎左跡方来、謡式番、  
俊寛左次馬、とふる知左衛門、早川浅之丞式  
番共聴聞いたしあり、跡二咄、夜四ツ時前  
二帰、モ寝、

四日 五ツ時頃二起、かやすあみ等、質物取  
替作配等、菖蒲風呂漏浴、昼前方土屏<sup>12</sup>屋  
根為致見物等、午睡、又土屏塀屋根見等、  
七ツ時前方永井江行、斎左中他行あり、石  
原数右衛門一寸来去、岡三、小川モ跡方来、  
謡半部知左衛門、

五日 六ツ半頃二起、飯炊并火おこし、夏目

くろく焼き等、杉苗五本為植等、朝睡り、  
起止録調、かやすあみ等、昼後髪結、まき  
結等、八ツ半前方永井誘斎左江行、岡三、  
多田行あり、謡玉葛二郎大夫、梅枝平右衛門、  
花筐知左衛門、小袖曾我逸次郎四番、夜咄、  
独吟等、四ツ時過二帰、寝、

六日 六ツ時過二起、役所江出吟味もの一通り  
共四人あり、朝四ツ時過二済、直二端丈吉江  
一寸行、中藤江行、暫咄、西坂善藏江行、  
暫咄、山十江寄、暫咄、昼過二帰、続而植  
松江行、咄、暮六、七番打、七ツ半頃二帰、  
続而斎判江行、妻も行あり、咄、晩二帰、  
続而早川江三回忌法事二行、夜五ツ時前二  
帰、寝、

七日 六ツ半過二起、庭掃除指図等、五ツ過  
方北川七之助来、謡志賀老番、続而永井来、  
奥山来、又謡式番、朝長吉左衛門、隅田川平  
右衛門、昼頃二北川、奥山去、是方少し以  
前二村田宇左衛門来、咄、跡方斎判も来、  
同咄、昼後八ツ時過二永井等皆去、小学素  
一人、せかれ温習等、七ツ時前方近藤鋼作  
聞合二来、七ツ半過二去、続而斎左方呼二  
来、永井誘斎左江行、岡三、多田行あり、  
蟻通逸次郎、藤戸二郎大夫、夜咄、四ツ時過  
二帰、モ寝、

八日 五ツ前二起、朝半日口入払帳しらべ、  
御触留いたし、起止録調等、昼後斎判江行、  
将棋式番、皆勝、帰、是日昼後方七ツ前迄  
妻本光寺等江参詣、小山良左衛門来、続而  
近藤鋼作来、岡検使書付老通調遣ス、跡二  
小山与基式番打分、八ツ半過二皆去、小学  
素一人、七ツ過方中惣来、咄、晩二去、続  
而多田逸江行、岡三、斎左、毛利茂来あり、  
謡采女半分、草紙洗知左衛門、黒塚逸次郎、  
跡二咄、夜四ツ半過二帰、寝、

九日 五ツ前二起、是界老番、四ツ時頃方瀧  
沢来咄、碁式番打、昼後八ツ時過二去、小  
学(素)一人、髪結、謡クリ、睡、七ツ時前  
二隣家遠田江一寸寄、毛利茂八郎江行、多  
田、岡三行あり、斎左、小川も□、謡、鉢  
木知左衛門、隅田川平太郎、是界三郎大夫、附  
祝言、跡二咄、馳走、夜四ツ時前二帰、寝、

<sup>12</sup> 土屏＝土塀のことと思われる。

十日 五ツ時頃二起、起止録調等、謡老番謡、天神町桑間屋江寄、直二稼亭方江行咄、将棋四番、昼後連而□□江一寸寄、才川錢屋清兵衛之蚕室<sup>13</sup>江見物二行、帰二無価亭江寄、筍二而一杯、帰七ツ時過二帰、稼亭連而帰宅、将棋四番、間二買烟翁来去、夜咄、五ツ過二稼亭去、寝、

十一日 五ツ時頃二起、佐野屋遣紙面調等、北川来、謡大原御幸知左衛門、梅枝七之介、仕舞際二斎判来、北川去、斎判与景清判大夫老番謡、昼後去、小学素一人、せかれ温習等、午睡、かひこ棚取寄、組立指図、間二毛利茂八郎来、咄、圪橋来、同咄、夕七ツ半過二皆去、晩方丹羽椎溪江行咄、謡蟻通老番、跡二咄、夜九ツ時過二帰、寝、

十二日 五ツ時頃二起、勤方帳面しらべ等、昼小学素一人、せかれ温習、中藤来、暫咄去、髪結、八ツ半過方七黒来、こほう、すぐり草取等、跡二咄、晩二去、間二端丈吉一寸来、暫咄去、夜謡老口、寝、

十三日 六ツ過二起、役所江出、取次老人口書老通、八ツ時頃二済帰、直二丹羽椎溪江行、咄、是日方屏風張替手伝二取懸ル、七ツ半頃方咄、同人連而圪橋方江行咄、夜五ツ時頃二帰、モ寝、

十四日 五ツ時頃二起、御触留いたし等、是日甚右衛門二柚ノ木為続、生山江頼置二付、同所江行、見物等、帰二斎判江寄、寄昼帰、午睡、庭掃除為致指図等、かやの木舟之格恰二拵等、晩二風呂二行、帰、夜(破損につき判読不可)寝、

十五日 五ツ時頃二起、庭掃除指図等、入払帳調理、御触留いたし等、起止録調、昼方丹羽椎溪江行、屏風張替手伝等、咄、山余来、同咄、晩二帰、稼亭来あり、咄、夜四ツ時頃去(綴じ目につき判読不可)

十六日 五ツ時頃二起、勤方帳しらへ等、四ツ時頃方斎判江行咄、帰、昼後午睡、髪結、七ツ時頃方斎判連而小川江一寸行、毛利へ行暫咄、小川江行、斎左、岡三、多田来あ

り、山姥□□、判大夫、あやの鼓七之助、絃上逸次郎謡、是日上條来ル筈之由ノ所不参、跡二咄、夜四ツ時過二帰、寝、

十七日 五ツ時前二起、中惣江一寸行、秋山江行、花袖式本つき木為致貫義頼二行、早川江先日法事之挨拶二一寸寄、佐野屋江寄、四ツ時頃二役所江出、寄日、九ツ時前二帰、圪橋方江寄暫咄、本光寺参詣、直二春日<sup>14</sup>江行、謡和布刈知左衛門、望月□□左衛門・知左衛門、千手小川七十郎、卒塔婆小町平七郎、舟弁慶判大夫、晩二帰、夜モ寝、

十八日 六ツ時頃二起、役所江出、取次老人口書手郡菊本□□候義、主付しらべ三拾ヶ条、夜八ツ時頃済、七ツ時頃二帰、寝、

十九日 四ツ時頃二起、入払帳しらべ、斎判来、暫咄去、起止録調、昼後小学素一人、せがれ温習等、九ツ半頃方植松来咄、続而永井来、同咄、同人植松与甚、老番半打、植松外江行、永井与謡、きぬた平右衛門、あふむ小町知左衛門式番謡、夕去、髪結、晩方又植松来咄、夜又永井来、碁打咄等、蕎麦振舞等、夜四ツ半過二皆去、寝、

廿日 □□□二起、五ツ半頃方役所江出、□□口書下もの匡校、昼後清書、為読合等、八ツ半頃二済、(破損につき判読不可)江一寸寄、圪橋方江行、是日先生、丹羽、前田、稼亭、余打寄会前田役引二付断也、咄、謡(破損につき判読不可)夜五ツ時過二帰、永井方呼来あり行、謡蟬丸、そ地謡、咄、九ツ時頃二帰、寝、

廿一日 (破損につき判読不可) 時頃二起、堀馬左衛門エ行き桑摘暫咄帰、北川七十郎へ行き右同段(破損につき判読不可)右同段、八ツ時頃方毛利江行、同所家来桑為摘貫(破損につき判読不可)楊貴妃跡二咄、(破損につき判読不可)夜四ツ時頃二帰、寝、

廿二日 (破損につき判読不可)草取斎判江行、暫咄帰、四ツ半頃方北川来、謡竹生鳴、跡二咄、馳走、夜四ツ時前二帰、寝、

(破損につき判読不可)

廿三日 五ツ時頃二起、髪結、かひこ棚、役所不時立二付(破損につき判読不可) 昼八ツ時過二済帰、直二前田兵太郎江一寸見舞二寄、佐野屋江寄、丹羽江行、屏風張替手伝等、跡二咄、七ツ半過二帰、続而敷地屋息来、廿六日之肴等言付等、晩方伴江行、小川行あり、続而香村来、同咄、夜五ツ過二帰、モ寝、

廿四日 五ツ時頃二起、同姓会之廻状到来下書等、庭徘徊等、四ツ時頃方斎判来、謡あふむ小町判大夫壺番、咄、昼頃去、午睡、起止録調、入払帳しらべ等、桑買代目形しらべ等、七ツ時頃方多田、斎判来、跡方小川来、謡清経知左衛門、定家判大夫・逸次郎、烏帽子折平七郎三番、跡二咄、夜八ツ半時頃二皆去、寝、

廿五日 五ツ時頃二起、佐野屋江遣ス紙面調等、明日人来之用意、二階方附等、朝眠り、昼又午睡、八ツ時頃方青木多聞来、暫咄去、庭掃除為致、買調もの言付等、七ツ半頃二桜井彦太郎聞合二来、晩二去、間二西坂善蔵一寸来、暫咄去、晩二謡式、三口、夜斎判来咄、五ツ過二去、かひこ数読等、寝、  
廿六日 六ツ時過二起、髪結、人来用意言附役所江出、途二一寸稼亭江寄、五ツ半前二役所江出、出揃日、棒稽古有之、昼後九ツ半頃二済帰、続而堀、磯部、脇坂来、内藤是日検使有之、相済上(綴じ目)につき判読不可去、続而磯野来、何茂咄、間二碁、脇坂、磯部二番打、余脇坂与一番打、馳走方別二留置、夜六ツ時前皆去、跡仕廻、寝、

廿七日 五ツ時頃二起、庭徘徊等、朝之内眠、昼方小学素一人、せかれ温習等、かひこ口ざ等、八ツ過頃毛利茂八郎来、碁式番打、咄、跡方小川来、暫咄、晩二毛利去る、謡、当麻謡中斎判来、同謡、跡二咄、夜五ツ時頃二皆去、かひこ目形懸等、モ寝、

廿八日 五ツ時頃二起、起止録調等、系図并由緒帳しらべ等、間二昼後小学素一人、せかれ温習等、八ツ半前二圮橋来、暫咄去、髪結、七ツ時前方桜井彦太郎江一寸寄、斉

藤左次馬江一寸悔二行、直二圮橋方江寄、暫咄、是日同姓会始、七ツ時頃方中村十三郎江行、中藤行あり、跡方中小、中村壮三郎、中久、中四、中村庄蔵追々来、中村守人も出、同姓九軒揃咄、後会相談等、是日亭主方人々江一汁一菜賄、取肴鯛さし、酒式三行、口取、客口御ナリ、後会方八日定日ニして弁当持寄候事ニ極ル、夜五ツ時前二帰、直二圮橋江寄、暫咄、四ツ時頃二帰、江戸詰之義二付、植松平左衛門方之廻状送り方等いたし寝、

廿九日 五ツ時頃二起、昨夜廻状之義二付植松来、暫咄去、続而近藤鋼作、堀馬左衛門来、暫咄等去、続而先刻之返事ニ植松江寄、暫咄、四ツ過方小川江行、謡天鼓平七郎、仏原知左衛門、昼後北川七十郎来、同咄、又謡、輪蔵知左衛門壺番、間二日本絵図帳見物等、七ツ前二帰、続而永井江寄、同人并岡三同所江行あり皆連而又小川江行、多田逸次郎行あり、跡方中村他左衛門も来、謡三番、敦盛逸次郎、羽衣知左衛門、自然居士平七郎、夜跡二咄、四ツ時頃二帰、モ寝、

## 六月

朔日 五ツ時頃二起、起止録調等、斎判江行、暫咄、昼前二帰、昼方斎判連而多田江行、謡祝言共拾番、氷室判大夫、殺生逸次郎、杜若潤次郎、弱法師知左衛門、阿漕判大夫、葵上三郎大夫、高野物狂逸次郎、半蔵平右衛門、あふむ小町平七郎・知左衛門、祝言養老、夜六ツ時頃済、跡二咄岡本、細野潤次郎、永井平右衛門、小川昼後方追々二来也、四ツ時頃二帰、寝、

二日 六ツ時過二起、役所江出、是日呼出等式拾壺組有之、取次三人、口書三通、外二口書式通直し等、夜六ツ時過二済、帰、一杯呑、寝、

三日 五ツ時頃二起、髪結、植松江一寸寄、稼亭江寄、暫咄、役所江出、口書清書為読合等、御土蔵見物等、昼後八半前二済帰、直二丹羽江寄咄、屏風衾形直手伝等、山余来、謡景清知左衛門壺番、跡二咄、夜五ツ

半頃二帰モ寝、

四日 五ツ時頃二起、植松江行江戸詰一件等之義ニ付相談、跡ニ碁四番打、昼前二帰、直二漏浴二行、昼後帰、小川来、近藤鋼作来、兩人碁壺番□□、坂井宇右衛門、多田逸次郎来、永井も跡方皆偶然追々来、斎判も来、各碁打、余看碁、稼亭来、皆与一集二咄、小川先ニ去北川呼ニ来、酒宴咄、晚ニ斎判、稼亭之外皆去、将碁<sup>15</sup>斎判、稼亭式番、余斎判与壺番、斎判先ニ去、夜四ツ時頃二稼亭去、寝、

五日 五ツ時頃二起、庭徘徊等、斎判来、きぬた知左衛門壺番謡、謡中ニ奥山、桜井来、跡方斎藤津左衛門も来、阿漕吉左衛門・彦太郎、昼頃皆去、昼後起止録調、小学素一人、午睡、道仙来、咄、髪結、七ツ時頃方斎判誘ニ来、連而多田逸次郎江行、岡三来、謡、鳥追三郎大夫、班女判大夫式番謡、跡ニ咄、夜四ツ半頃二帰、寝、

六日 六ツ時過二起、役所江出、是日も式拾壺組有之、取次三人、口書三通、外ニ口書式、三通直し、夕七ツ半過ニ済帰、直様北川七十郎方江相続祝祝義ニ付、小謡壺口、夜四ツ半頃帰、モ寝、

七日 五ツ時過二起、土田方兼山秘策しらべ呉様頼ニ付、内式冊しらべ等、四ツ時頃役所江出、口書清書為読合、昼後八ツ時前ニ済帰、直ニ稼亭江一寸寄、暫咄、丹羽江寄、又暫咄帰、湯あみ、眠、庭徘徊等、七ツ半過方家内圮橋方江一寸行、留守、起止録調、上納上指調等、晚方蚊帳つり休、夜五ツ時頃ニ家内帰、寝、

八日 五ツ時過二起、庭徘徊、斎判江行、暫咄帰、糸くり指図等、昼方小川来咄、続而斎判来謡、采女平七郎壺番、永井江来、同咄、又砧判大夫壺番、余間ニ髪結、砧地半程方謡、七ツ時頃二皆去、続而弁当為持中藤江行、同姓会庄蔵、十三郎、守人、小太郎、久太郎五人行あり、壮三郎、余一集ニ罷通り、跡方四郎兵衛来、色々咄、夜六ツ時過二帰、

直ニ永井江寄、小川、斎判、多田行あり、咄、夜四ツ時頃二帰、寝、

九日 五ツ時頃二起、朝半日糸くり等、昼起止録調、小学素一人、せかれ温習等、午睡、七ツ時前より永井江寄、暫咄、中村勝左衛門江行、明日御普請会所江仕切役銀上納頼ニ行、又永井江寄、暫咄、帰、食後斎藤左次馬江見廻旁行、暫咄、晚ニ小川連而奥山江行、跡方永井も来、謡百万知左衛門、鉢木平七郎式番、跡ニ咄、夜四ツ時過二帰、寝、

十日 五ツ時頃二起、青木多聞聞合ニ来、咄等、昼前ニ去、眠り、昼後又午睡、七ツ前方桜井聞合ニ来、七ツ過ニ去、晚方小川江行咄、とほる平七郎壺番謡、跡ニ長談、夜九ツ時頃二帰、モ寝、

十一日 五ツ時頃二起、斎判江行咄、昼前二帰、起止録調、入払帳しらべ等、昼後上納しらべ等、近藤鋼作聞合ニ来、暫咄去、眠り、小学素読、温習いたし去、間ニ斎判より呼ニ来行、同人此日仕送り御返之由、水野金大夫行あり、跡方小川江来、同咄、一杯吞、七ツ半前ニ余帰、孝友堂先生来咄、堀栄之助息来、暫同咄、堀去、続而小川来謡独吟、同咄、晚ニ先生去、夜六ツ半頃小川去、寝、

十二日 五ツ時頃二起、せかれ温習等、箆箭方附等、朝眠り昼後湯あみ、午睡、八ツ時頃方奥山吉左衛門来咄、続而丹羽権溪来、同咄、永井来謡、善知鳥知左衛門、楊貴妃次郎大夫、是界平右衛門、間ニ磯部他次郎来、下座敷ニ而暫咄去、謡後山十来、同咄、奥山去、夜五ツ時頃皆去、寝、

十三日 六ツ時頃二起、役所江出、是日三左衛門殿<sup>16</sup>御出座御聞届、昼後八ツ半頃二済、跡ニ而吟味受八組、取次壺人、口書壺通、外ニ壺通直し、夜済、六ツ時過二帰、寝、十四日 五ツ時頃二起、虫喰歯ましなない壺ッいたし斎判江行、右札遣シ咄等、四ツ過二帰、暫眠、近藤鋼作来、聞合方等、間ニ御

<sup>15</sup> 将碁Ⅱ将棋の誤記と思われる。

<sup>16</sup> 三左衛門殿Ⅱ加賀藩年寄役八家の一つ横山家十一代当主横山隆平。



触留いたし、起止録調等、近藤江御取扱銀  
迄願書付草案調遣シ、昼去、昼後四冊御定  
しらべ、式冊斗読、間二小川一寸来去、八  
ツ半頃方買烟翁来、続而稼亭来、将棋翁与  
式番、稼亭与四番、翁先去、夜六ツ時前  
二稼亭去、続而山十来、咄、夜五ツ過二去、  
モ寝、

十五日 五ツ時頃二起、庭徘徊等、五ツ半頃  
方青木多聞聞合二来、間二同人江御取扱銀  
迄願書草案調遣シ、跡二碁七番打式ツ為置、  
余五目打、昼去、昼後斎判江行、同人留守、  
津左衛門并松五郎与謠、寢覺津左衛門、草紙  
洗知左衛門、通小町津左衛門、猩々知左衛門、  
下リハハ、跡二暫咄、帰、長浜屋小川江遣ス分  
并福光屋<sup>17</sup>酒ハ小別之□□江行、酒并肴調等、  
帰、湯あみ、夕妻等留守、庭徘徊(晩)方  
桜井彦太郎来咄、夜五ツ時過二去、四ツ時  
頃二皆帰、寝、

十六日 五ツ時頃二起、斎藤津左衛門来、謠、  
半部知左衛門、小袖曾我津左衛門、輪藏津左衛  
門、草薙津左衛門四番謠、昼去、昼後風呂屋  
呉服屋来、碁四番打去、間二近藤鋼作来、  
江戸詰二付相談等咄、八ツ半頃二去、湯あ  
み、七ツ時方圪橋来、咄、晩二去、髪結、  
夜寝、

十七日 五ツ時頃二起、斎判江行、暫咄、小  
川来二付帰、御取扱迄願相談等紙面調、四  
ツ過二小川去、続而斎判来、暫咄去、四ツ  
過二品川殿<sup>18</sup>江一寸出、願書付出し直二役所  
江出、寄日、昼九ツ過二帰、直二圪橋方江  
寄、暫咄、本光寺江参詣、屋根方与三次方  
江一寸寄、□□屋江行、謡老松平七郎、頼政  
七十郎、半部知左衛門、小袖曾我津左衛門、輪  
藏判大夫、草薙与左衛門、千引松五郎、千引余  
不謡、跡二神戸八郎大夫等都合拾耆人独吟  
廻し等、晩二帰、湯あみ、夜寝、  
十八日 六ツ時過二起、役所江出、是日吟味  
もの三人、口書老通直し等、昼後八ツ時過  
二済、帰、直二永井江寄、植松平左衛門も

来、同暫咄帰、丹羽慎之助来あり、謡聞等、  
暫眠、湯あみ、七ツ過方多田逸次郎来、咄、  
斎判、岡三跡方来、謡耆番隅田川判大夫・知  
左衛門、夜咄、四ツ時頃二何も去、寝、

十九日 五ツ時頃二起、安保見佐談等、青木  
多聞聞合二来、咄等、昼去、起止録調、昼  
後入払帳しらべ等、斎判江行咄、帰、暫眠、  
小川来咄、七ツ時頃二去、湯あみ、道仙并  
卷田屋吉右衛門来、咄等、七ツ半前斎判  
誘二来、連而岡三江行、小川行あり、多田、  
早浅、永井跡方来、謠、朝長逸次郎、照君判  
大夫、唐船平七郎、跡二咄、夜五ツ過二帰、  
寝、

廿日 五ツ時頃二起、庭徘徊等、磯野来、暫  
咄去、髪結、昼後午睡、八ツ過二湯あみ、  
八ツ半頃二近藤鋼作同人此日江戸被仰渡見合罷  
在、江行暫咄、七ツ時前二脇坂江行、寄日、  
七ツ過二仕廻、帰、続而永井江行、□□□、  
植松行あり、謠、烏帽子折切詞謡、跡二咄、  
晩二帰、続而中惣江行、御親翰写等、送り  
等、咄、夜四ツ時頃二帰、寝、

廿一日 五ツ時頃二起、終日頼母子帳しらべ  
等、間二朝之内桜井来、暫咄等、去、七ツ  
時頃二湯あみ、斎判江行、同人留守、津左  
衛門与綾鼓津左衛門老番謠、七ツ半過二帰、  
起止録調、晩方斎藤津左衛門来、又謡式番  
藤戸知左衛門、黒塚津左衛門、夜五ツ時頃二  
去、寝、

廿二日 五ツ時頃二起、青木多聞来、聞合セ  
等江戸詰之義蘭合等方、跡二碁四番打、昼後  
去、続而植松江行、咄、碁四番打、西谷大  
藏来、同咄、晩二帰、屋根方与三次来、は  
ん取寄相談等、謡耆口、夜モ寝、

廿三日 五ツ時頃二起、朝半日頼母子案内小  
紙調、昼後桜井吉太郎聞合二来、跡二碁四  
番打、七ツ時頃二去、七ツ過方斎判江行、  
須磨源氏切ノ地謡、弱法師津左衛門・知左衛  
門、畑七郎左衛門来、同咄、夜四ツ時頃帰、  
寝、

廿四日 六ツ時過二起、斎判江行、謠、是日  
方土用稽古謡、高砂知左衛門、田村津左衛門、  
熊野知左衛門・判大夫、四ツ時前二帰、眠、

<sup>17</sup> 福光屋 現在も酒蔵として存続。

<sup>18</sup> 品川殿 公事場奉行品川武好。



昼前方土用見廻磯部来、咄、碁三番打、八ツ時頃二去、早川権大夫一寸来去、勤方帳面読等、又眠、七ツ前方小川来咄、風呂屋呉服屋来、碁式番打、小川与壺番打去、晩二小川去、夜寝、

廿五日 六ツ時過二起、斎藤父子、畑七郎左衛門来、班女七郎左衛門、鵜飼津左衛門、兼平知左衛門、四ツ時前二皆去、髪結、庭徘徊等、土用見廻中惣来、暫咄去、起止録調、昼方土用見廻、品川殿、板坂二郎大夫、丹羽、圀橋方、大島、篠原殿<sup>19</sup>、織田殿<sup>20</sup>、進士、林助、馬淵、坂宇、越久江一寸寄、頼母子会言付、永井七ツ半頃二帰、湯あみ、庭徘徊等、夜寝、

廿六日 六ツ時頃二起、謡壺口、役所江出是日吟味もの四組、八ツ時過二帰、湯あみ、近所土用見舞、早川、近藤、中他、堀栄、遠田、水野、山銀、鈴木、北川、中惣、三田村、小川江行、早崎跡方毛利来、同咄、夜四ツ半頃二帰、モ寝

廿七日 六ツ半過二起、斎判江行、畑父子来あり、謡難波津左衛門、千手七郎左衛門式番、五ツ半頃二帰、水野金大夫義二付、又斎判江暫行咄、帰、起止録調等、昼方圀橋来、伴来、暫咄去、湯あみ、永井江寄暫咄、生山、篠井、斎田、青重、伴、村宇、植松、猪俣、山本、長屋、不破、早浅、岡三、土谷、坂仙、森島、三輪、毛利、斎左江土用見廻二行、夕帰、端丈吉来、暫咄去、せかれ謡口移等、夜寝、

廿八日 六ツ半頃二起、斎藤父子来、老松津左衛門、頼政判大夫、船弁慶□□□、五ツ半過二去、板坂二郎大夫来、井口方相談等、四ツ時頃二去、土用見廻、香村、松村、山十同所二而昼飯・休息等、九ツ時々、井鍼、西善、木下、岸井、本光寺、中十、中藤、木平、明石、梅村、遠保、湯原、跡治、磯野、磯部、前兵、青木、佐野屋、土田、古沢、中四、笠間、式拾五軒勤、晩二帰、湯あみ、

夜小川来、暫咄去、寝、

廿九日 六ツ半頃二起、斎藤江行、井筒知左衛門、鉢木清左衛門、判大夫留守、村宇同所江来、暫咄、四ツ時前二帰、早川江見廻二行、内藤、中庄、中壮、高柳、脇坂、北川亥之作江行、昼九ツ時頃二帰、直二植松江寄、咄合等、矢部江口寄、帰、午睡、梅村来、暫咄去、間二内藤一寸来去、稼享来、咄去、間二辻保次郎来、同咄、一足跡二去、湯あみ、晩二起止録調、是日妹妙口三拾三回忌、夜六ツ時前方本光寺所化来、読経、夜五ツ過二去、寝、

晦日 五ツ時頃二起、娘兩人麻疹、上田元伯一寸来去、頼母子帳面しらべ等、午睡、八ツ時過二湯あみ、斎判江行、暫咄、永井江行、暫咄、永井江斎判来、同人同道村田宇左衛門江行、咄、岩倉新吾来、同咄、先二去、夜四ツ時前二帰、宅二而斎判暫咄、去、寝、

## 七月

朔日 五ツ時頃起、セき筆墨入用意等、斎藤左次馬方詔之漢文訓点付呉与頼越二付、右かな付并字訓調等、昼後八ツ時前迄懸ル、所々頼母子懸銀中勘為持越二付返書等、八ツ時過方森嶋守人来、咄、具足土用曬手伝いたし貰等、七ツ過二去、湯あみ、髪結、山十来、暫咄、連而永井江寄、暫咄、越久亭江行是日せかれも同道いたし罷越事、頼母子会夜四ツ時頃二済、帰、寝、

二日 六ツ時過二起、役所江出、是日斬罪もの奥二而有之、密通女老人、見物二出、取次老人、口書壺通、八ツ時過二済帰、森嶋方頼母子二付紙面到来、返書等、圀橋来、暫咄去、眠、湯あみ、小川来、暫咄、永井も一寸来去、晩方尾山屋跡江猪俣久米五郎頼母子会二行、仕法附入札等、夜四ツ時頃二帰、モ寝、

三日 五ツ時頃二起、福田道仙来、勝手方上納等色々しらべ、返済銀しらべ等、間二朝之内斎判暫来咄去、昼午睡、又入払帳調理等、八ツ半頃二道仙去、遠田屋来咄、七ツ

19 篠原殿＝篠原弥助のことか。  
20 織田殿＝嘉永四年まで公事場奉行であつた織田益堅のことと思われる。

過二去、湯あみ、又入払帳しらべ等、晩方休、夜六ツ時過る斎判来咄、四ツ時頃二去、モ寝、

四日 五ツ時前二起、隣家遠田江一寸行、丹羽椎溪江行、小割八百目頼、四ツ時前二帰、堀馬左衛門麻疹江一寸見廻二行、小川同人三男同江見廻二一寸行、四ツ過二帰、斎判江行、暫咄、昼前二帰、昼後午睡、八ツ時頃る小川来咄、七ツ半頃二去、湯あみ、又丹羽江行、留守八百目小割受取しらべ等、夜六ツ時頃二帰、斎判江行、咄、夜四ツ時過二帰、モ寝、

五日 五ツ時頃二起、上納上指調等、本光寺上人来、暫咄去、髮結、頼母子入銀しらべ等、午睡、八ツ時頃る髮結、又晩迄入払帳しらべ等、間ニ湯あみ、晩ニ永井来、暫咄去、夜斎判来、暫咄去、寝、

六日 六ツ時過二起、中惣誘来、連而役所江出是日吟味もの四人有之、引取書老通調、八ツ半過二済帰、直二堀、桜井卜磯部連ニ而見舞二行、直二毛利、伴江暫宛行咄等、七ツ時頃二隣家遠田江一寸行帰、頼母子寄銀しらべ并初懸取ニ遣ス紙面調等、晩方永井江一寸行、留守、奥山江行、暫咄、夜六ツ過二帰、寝、

七日 五ツ時頃二起、斎判江行、暫咄、五ツ半過二帰、終日頼母子并上納入払帳しらべ等、間ニ午睡、湯あみ、七ツ半頃る斎判一杯持来、咄、永井来、同咄、夜五ツ半頃二皆去、斎判一足先二去、寝、

八日 五ツ時頃二起、中惣江一寸行、暫咄、植松江行、暫咄、小川江行留守、長勘、三輪江一寸寄、北川七十郎江行、暫咄、早権麻疹江見廻二行、暫咄、四ツ過二帰、起止録調、昼後中惣来、暫咄去、頼母子入札調筆等、八ツ時頃る土用見廻残り等、中久江行、圪橋方江寄、暫咄、寺西多宮江行、孝友堂江行、前二而前兵二逢、暫咄等、生山小左衛門へ行き、岩尾□□大夫江行、遠田源之丞江寄、暫咄等、直二本光寺江行、同所□□頼母子会済居、和尚与暫咄、岸井太助江寄、木下平之介江寄、稼亭、道仙行あり、

同咄、晩方小松屋向御坊、井口鍼太郎頼母子会二行、夜四ツ時前二帰、モ寝、

九日 五ツ時頃二起、斎判江行、暫咄等、瀧沢来二付帰、咄、跡方斎判も来、同暫咄、皆去、入払帳しらべ等、青木多聞来、暫咄去、昼後午睡、湯あみ、又入払帳しらべ等、晩方奥山江一寸寄、伴江行、小川二逢、上納頼暫咄、夜六ツ時頃る磯部江行、圪橋方頼母子会、夜五ツ時頃二帰、直ニ稼亭江行、平之介、一色、友田行あり、同咄、四ツ半頃二帰、寝、

十日 五ツ時頃二起、伴来、暫咄去、切籠調筆等、間、土田一寸来去、終日頼母子寄銀等しらべ等、湯あみ、夜、植松来、暫咄、五ツ前二去、寝、是日方せかれ麻疹出、十一日 五ツ時前二起、起止録調、頼母子寄銀しらべ、入払調理等、昼後午睡、小一郎来、暫咄去、湯あみ、髮結、遠田屋来、暫咄、夕近所永井、早権、村宇江つり銭等夫々持行、晩二帰、続而永井誘連而十間町卯辰屋江山十頼母子会二行、帰ニ青草辻江廻り西瓜壺ツ持帰明日せかれ江□□申分也、四ツ時頃二寝、

十二日 五ツ時頃二起、終日入払帳調理等、返銀夫々いたし払方等も夫々取二来ル分遣シ等、湯あみ、晩方小川来、咄、夜五ツ過二去、寝、

十三日 六ツ過二起、野代屋江一寸寄、印紙壺石買、直ニ役所江出、取次老人、口書老通、八ツ半過二済帰、直ニ永井、近藤、堀、森嶋江行、暫宛用事、咄等、七ツ過二帰、生山頼太郎江一寸行、斎判江寄咄、夜帰、稼亭、梅村来あり、端丈吉、梅村頼母子寄銀、夫々しらべ手取高吟味受取、夜五ツ半頃二去、稼亭与指引合、夫々算用いたし渡し等、跡二咄、晩七ツ時前二去、モ寝、

十四日 五ツ時頃二起、終日払方等、間ニ遠田源之丞一寸来去、中村四郎兵衛江頼母子寄銀遣シ、湯あみ、夜迄ニ夫々払方并紙面応答、井佐方紙面返事等、夜九ツ過二寝、十五日 五ツ時頃二起、終日跡算用入払帳面調等、間ニ御触留いたし等、七ツ半過る瀧

沢来咄、夜五ツ過二去、寝、

十六日 五ツ時頃二起、髪結、庭徘徊等、齋判江行、暫咄、昼前二帰、昼方本光寺江参詣、途二山十江一寸寄、暫庭二而咄等、帰二圮橋方江寄、咄、道仙跡方来、是安屋来、同咄、先二去、七ツ時頃二帰、湯あみ、起止録調、少々風邪氣二而晩方寝、夜齋判来、暫咄去、寝、

十七日 六ツ半過二起、瀧沢江一寸寄、板坂二郎大夫江行、留守、丹羽江寄、咄、四ツ時頃方直二役所江出、寄日、九ツ過二帰、直二稼亭江寄、暫咄、西坂先生麻疹二付一寸見舞二寄、直二春日江行、井筒判大夫、鉢木知左衛門式番謡、七ツ時頃二帰、直二又板坂二郎大夫江一寸寄、帰、湯あみ、植松、板坂兩人、余宅江来、井口佐太右衛門方一件二付相談、算用等、夜四ツ時頃二皆去、モ寝、

十八日 七ツ半過二起、瀧沢誘二来、連而役所江出、是日式日、六ツ時揃也、御刑法もの拾七人有之、取次壱人、一通り外二口書毫通直し、昼後ためしもの拾七有之、夕七ツ半前二済帰、風邪難義寝、間二湯あみ、永井来、暫咄去、晩二北川七十郎来、不逢、夜四ツ時頃二端丈吉来、先達而方頼遣、豆口力今日来ル、余并娘、友診察いたし去、寝、

十九日 終日不快二而休、朝之内廻状両度、留并送り等、早川権大夫一寸来、不逢、昼方道仙来咄、間二内藤誠左衛門来咄、跡方齋判来、同暫咄、五ツ時頃二兩人共去、晩二道仙去、一時上納願紙面調等、永井江為持遣、米屋次兵衛来、井口方古手ものあつらへ等、去、夜寝、

廿日 少々快、五ツ過二起、中村四郎参ル、紙面遣、頼母子帳取寄等、是日病人多二付、寄相止、奥山一寸来、去、昼前後眠、八ツ過方米屋次兵衛来、井口方古手もの入用之分一覽等、間、植松来、暫同示談等、植松去、跡二米屋去、紙面調右品々板坂江為見二遣シ等、一時返上聞届之紙面到来、返書いたし等、晩二植松江同人方五才之小兒馬

搜風<sup>21</sup>二付、見廻二一寸行、帰、夜寝、

廿一日 五ツ時頃二起、全快、懸物曬等、起止録調、上納銀しらべ、上ル下ケ調、入払帳しらべ等品々、昼後髪結、早権江行、暫咄、永井江一寸寄、植松江行、同人方五才之娘麻疹病死、咄等、七ツ頃二帰、近藤鋼作江見舞二行、暫咄、帰、湯あみ、端丈吉来、暫咄去、米屋次兵衛来、井口方入用古手物色々直段仕切買上ケ等、晩二去、夜瀧沢来、暫咄、去、寝、

廿二日 五ツ時頃二起、奥山江一寸瀧沢之上納頼二行帰、齋判江行咄、昼前二帰、古書物曬等、昼後孝友堂先生見舞二行、暫咄、直二圮橋方江寄、留守、暫咄、丹羽江寄、咄、七ツ過方直二板坂江行、連而井口方二付、同家中小林江行、用談等、直二井口江行、以後心得方等為留ヲ縮所方出シ、夜六ツ過二帰、続稼亭来、咄、四ツ時前二去、モ寝、

廿三日 五ツ時頃二起、書物方附等、間二井口方紙面返書等、昼前後眠、七ツ時頃二湯あみ、多田逸次郎江はしか見廻二一寸行、土谷九内江一寸悔二行、瀧沢江一寸寄、留守、植松江行、永井も行あり、同咄等、永井先二去、夜五ツ半頃二帰、モ寝、

廿四日 五ツ時頃二起、書物曬等、板坂二郎大夫来、咄、四ツ半頃二去、眠、昼後湯あみ、起止録調、書物方附、八ツ過頃方圮橋方江行、同人昨日若殿様御近習被 仰付、右二付江戸江指出紙面調等、早々稼亭も来あり、跡二咄、夜五ツ過二帰、寝、

廿五日 五ツ時頃二起、懸物方附等、朝之内齋判江行、咄、昼前二帰、午睡、八ツ半過方近藤鋼作江行、咄、碁六番打、晩二帰、夜齋判来、暫咄去、モ寝、

廿六日 六ツ時過二起、役所江出、取次壱人、口書毫通、外二脇坂、磯部他次郎被仰付分、読上ケ等、兩人檢使被仰付引取事、外式人見合二而、同役磯野与余兩人迄之事、七ツ半過二済帰、笠間江一寸寄、湯あみ、木下江遣紙

<sup>21</sup> 馬搜風 破傷風のことと思われる。

面調等、伴江行、暫咄、夜六ツ時頃二帰、井佐方紙面到来、口上ニ而返事いたし、寢、廿七日 五ツ時頃二起、板坂二郎大夫誘、井佐江行、買調物品々渡方等、四ツ時過二帰、是日妻等何茂圮橋方江行留守、眠、昼後西坂方先生大切案内紙面来<sup>22</sup> 且取持ニ来吳候様、別ニ使も来ニ付行、圮橋方江一寸寄、八ツ半頃方行、紙面指図等色々取持、夜六ツ過二帰、妻七ツ半頃帰、モ寢、

廿八日 五ツ時頃二起、起止録調、入払帳調理等、木下平之介来、暫咄去、少々不快、眠、昼後湯あみ、又休、七ツ時前山十江行、咄、縮番出水見物等、晩方直二大橋江廻り磯屋江行、大島頼母子式番会帳面調手伝等、仕法極、馳走、余江落札、夜四ツ半頃二帰、寢、

廿九日 五ツ時頃二起、少不快ニ付眠、昼後九ツ過方米屋次兵衛来、井口火事羽織等紋入持来、暫咄去、斎判江行、暫咄、八ツ時前山小川来ニ付帰、咄、七ツ過方斎判も来、同咄、夜五ツ時二皆去、寢、

## 八月

朔日 五ツ時頃二起、起止録調、入払帳しらべ、暨井口方勝手帳面しらべ等、頼母子入札夫々調上ケ等、具足方附等、前段色々終日懸り、晩ニ髪結、夜六ツ時過方中惣江行、明日役所遅参之旨相頼、跡ニ暫咄、五ツ時過二帰、寢、

二日 曉七ツ半頃二起、西坂江行、是朝葬礼、六ツ半頃二同所寺妙応寺江参詣、着棺之上帰、直ニ稼亭方江寄、服脱替直様五ツ時過方役所江出、引取書老通、九ツ半頃二済帰、直ニ本多殿妻病死忌引ニ付悔二行、帰、八ツ過方山十来、碁三番打、間ニ奥山来、暫咄去、中惣来、斎判来、同咄等、七ツ過方山十、中惣皆連而斎判江行、咄、晩ニ山十去、夜畑七郎左衛門来、同咄、永井余庭伝来、同咄、四ツ時過二帰、モ寢、

三日 五ツ時頃二起、早川江行、暫咄、斎判江行、暫咄帰、起止録調等、書物曬、御夜話読等、昼後書物方附、湯あみ、七ツ時前山尾張町竹階屋江寄、蠟燭買、直ニ西坂江行、先生中陰逮夜、咄等、夜六ツ半頃二帰、寢、

四日 五ツ時頃二起、昼後迄御夜話全読仕、間ニ眠り、八ツ時過二小川来、咄、七ツ時過二去、御触留いたし等、湯あみ、夕景多田一寸来、去、晩方堀馬左衛門江一寸見舞二寄、毛利茂八郎江行咄、夜四ツ時過二帰、モ寢、

五日 五ツ時頃二起、小川来、糸口入頼置候を持参、咄、四ツ過二去、終日書物しらべ并由緒帳等入箱曬等品々、間ニ湯あみ、七ツ半過方髪結、晩方妻永井江行、夜六ツ時過二帰、留守中蚊帳つり、子供為寢等、妻帰後葛餅給等、寢、

六日 六ツ時過二起、役所江出、取次拾式人内拾一人連名、口書式通、夕七ツ半前二済帰、直ニ笠間江一寸寄、丹羽椎溪江行、咄、夜五ツ時頃二帰、湯あみ、寢、

七日 五ツ時頃二起、伴江行咄、堀馬左衛門江行、暫咄、四ツ半頃二帰、斎判江同所奥様夜分方煩二由二付、一寸見舞二行、昼前方終日書物曬等、色々拔書物読等、晩方永井来咄、夜五ツ半過二去、寢、

八日 五ツ時頃二起、起止録調等、書物しらべ等、斎判江行、暫咄帰、髪結、昼後眠、道仙来咄、毛利茂八郎来、暫咄去、七ツ時前二湯あみ、内藤江一寸見廻二行、暫咄、七ツ半前方同姓寄ニ付長町式番丁中村庄蔵江行、中藤・中小・中守・中壮行あり、中十・中四兩人病氣断、中久無断不参、中藤晩ニ先ニ去、咄等、夜六ツ時頃二帰、モ寢、

九日 五ツ時頃二起、食後米屋次兵衛来、呉服物買上ケ等、跡ニ碁七番打、昼後八ツ時過二去、続而圮橋来咄、系図等色々相談等、七ツ半頃方丹羽椎溪来、同咄、夜五ツ時頃二去、寢、

十日 五ツ時頃二起、入払帳しらべ、起止録調、御触留いたし、井口方帳面しらべ等、

<sup>22</sup> 先生大切之案内紙面到来、西坂成庵危篤を知らせる書状が来た。

昼後又先年方御触仮写付之分清書調等、晩迄、夜小川来咄、五ツ半頃二去、寢、

十一日 五ツ時頃二起、終日御触留写上ケ、晩迄二仮写之分全写上ケ、間二朝之内暫齋判来咄、去、夕湯あミ、夜寢、

十二日 五ツ時頃二起、終日御触留帳とし直し等、旧記しらべ等、夕湯あミ、髪結、七ツ時前より稼亭来咄、多田逸次郎来、同咄、晩方小川来、又同咄、夜四ツ時頃二皆去、寢、

十三日 六ツ時過二起、役所江出、取次式人、口書老通、忝人ハ一通り、外ニ引取書老通、是日先達而奥妙寸甫一件抱り合之宮腰菓子屋太四郎与云もの呼出有之、右しらべ間懸式拾ヶ条有之、磯野主付、調筆手伝いたし為読聞いたし等、

十四日 朝四ツ時前二済帰、眠、昼九ツ時過二覚、齋判江行、暫咄帰、湯あミ、中西惣右衛門江同人母大病見廻二行、暫咄、直二七ツ時前方小川江行、咄、間二三田村半助来、暫同咄、先二去、晩方齋判来、同咄、夜四ツ時頃二帰、寢、

十五日 五ツ時前二起、五ツ半二役所江出、口書清書、為読合等、七ツ時前二仕廻、帰、直二大島江寄、暫咄帰、庭掃除等、湯あミ、齋判来咄、稼亭来、同咄、椎溪、圀橋来、齋判去、夜庭江けし之種為時等、明月大豆振舞等、五ツ時前方又齋判来、同咄、五ツ半頃二椎溪等去、跡二齋判残り又咄、四ツ時過二去、寢、

十六日 五ツ時頃二起、庭江出、つる大豆取等、食後起止録調、入払帳しらべ等、午睡、湯あミ、是日柚ノ木等つぎおろし為種等、晩方木下江行、稼亭も行あり、咄、将棋五、六番、夜四ツ時頃二帰、寢、

十七日 六ツ半頃二起、庭廻り茶之間二而火焚等、髪結、五ツ半過方中惣江一寸見廻二寄、役所江出、寄日、九ツ過二帰、直二湯原平大夫江前月十三日五拾石御加増之祝義二行、留守、直二本光寺江行、墓参等、直二春日江行、野守、実盛、高野、大江山知左衛門四番讀、夜六ツ時前二帰、夜モ寢、

十八日 六ツ時過二起、役所江出、取次拾三人、口書式通、内拾式人ハ連名、牢屋一件之事、七ツ半頃二済帰、永井江寄、暫咄帰、晩方寢、

十九日 五ツ前二起、是朝方疊屋来、指図等のりこし等、午睡、入払帳しらべ等、間二八ツ半頃方七ツ時迄小川来咄去、起止録調、夕食中又小川誘二来、暫咄、連而才川組屋替屋江行、糸口等詮義等、夜帰二松山蕎麦店江行、そば為打見物等、夜五ツ半過二帰、モ口寢、

廿日 五ツ前二起、食後永井江一寸行、留守、中惣江行、暫咄帰、疊屋来あり、終日右指図等并爐切替甚右衛門江指図等、七ツ時前二永井来、暫咄去、上納上ヶ下ヶ調等、湯あミ、入払帳調理等、晩二疊屋江一杯為吞相手等、夜モ寢、

廿一日 五ツ前二起、疊屋来咄等、四ツ過方堀馬左衛門江一寸見廻二寄、植松江行、是日同所家内皆留守、和学書披見等、暮亭主与都合三番打、□□□板坂二郎大夫、永井平右衛門も来、同咄、暮各数番打、間二余一寸宅江帰、野代屋済証文渡シ又植松江行、夜五ツ時頃二帰、寢、

廿二日 五ツ時頃二起、丹羽江行、諸方上納頼、暫咄、四ツ時前方直二圀橋方江行、咄、源太、平之介、大衆屋柳軒も追々来去、昼後九ツ時過二帰、続而近藤鋼作江砂糖壺蓋拵貫頼二行、碁拾番斗打、晩二帰、湯あミ、夜モ寢、

廿三日 五ツ前二起、起止録調、是日訛言<sup>23</sup>二而九ツ時方八ツ時迄湯茶煙草等一切禁制、且朝五ツ時二白大豆八粒、黒大豆八粒煎出し家内一統吞、朝之内御触留しらべ、せかれニ蒙求温習為致等、午睡、八ツ時過二覚、中折壺束障子張紙継立いたし、晩二中惣江一寸見廻二寄、留守、永井江行、留守、帰、夜寢、

廿四日 五ツ時二起、御触留帳拾五冊下仕立いたし、昼後八ツ時頃二堀馬左衛門江行是

<sup>23</sup> 訛言＝根も葉もない噂。

日朝 堀方呼ニ来、同人方当六月出生娘病死  
ニ付、右届書附相談ニ付、植松江一寸行、  
永井江行、又植松江行、堀江行、夕帰、湯  
あみ、晩方木下平之介江行、稼亭、圀橋行  
あり、同咄木下御広式□□居候女むしほニ付  
下り□□上ル、祝、夜五ツ時頃二帰、直ニ  
稼亭江行、将棋七、八番、八ツ半頃二帰、  
モ寝、

廿五日 五ツ時前二起、障子張、朝方おは、  
お貞様、安ま、孝马来、昼後髪結、八ツ時  
過方永井来、暫咄去、稼亭来、道仙来、圀  
橋来、間ニ堀馬左衛門江行、今朝指出書附  
加筆之分等調直し遣シ等、帰木下太郎来、  
祭ニ付咄等、稼亭与将棋式番、夜五ツ前二  
皆去、おは、お貞様、安ま泊り、寝、

廿六日 六ツ時過二起、役所江出、取次式人、  
口書式通是日大隅守<sup>24</sup>殿御聞届ニ御出座也、夜九  
ツ半頃二済帰、一杯吞、寝、

廿七日 五ツ半過二起、七黒五郎右衛門来咄、  
昼前二去、起止録調、昼後半日反古しらべ  
並障子一間太鼓張いたし、みの張少しいた  
し等、夕永井来咄、夜六ツ半頃二去、寝、

廿八日 五ツ時前二起是朝方少し疝痢気味、昨日  
張残之みの張いたし、五ツ半過方役所江出、  
口書清書為談合等、昼後九ツ半頃二済帰、  
直ニ大島江寄、留守、西坂江忌中見廻旁々  
一寸行、多田久太郎留守江一寸見廻、山十  
江行、咄、一杯吞、同人連而帰宅、余一寸  
永井江寄咄、又山十同所江来、同咄、夜六  
ツ時頃山十連而中惣江一寸行、暫咄帰是日七  
ツ時過ニ此間方おは長夜之所帰宅也、井口佐太右衛  
門、今日咄め許ニ付、留守中式番迄来ル由、夜五  
ツ時頃ニモ寝、

廿九日 此曉方疝痢甚敷、七、八度行、雨降  
ノ時こけ取ニ行約束いたし置候得共、山十、永井不  
来、何も口悪敷相止候事、五ツ時頃二起、終日  
反古しらべ、みの紙

紙全仕上ケ、みのしぼり半間いたし、間ニ  
日之内拾式三度行、日之内大根おろし吞、晩ニ

道仙来咄、粉薬吞等、夜モ寝、

晦日 此曉迄ニ拾度斗、朝五ツ過二起、昨日  
残り半間之分みのしぼりいたし、昼後方内  
藤誠左衛門来、暫咄去、午睡、遠田屋来、  
咄去、夕井佐来咄、晩方齋判来咄、あめせん  
じ吞、夜六ツ時頃二井佐去、五ツ時頃二齋  
判去是日之内拾式三度行、□モ一寝是夜六度行  
夜半ニ北川亥之作年寄衆席執筆江転役之廻状来ル、

#### 閏八月

朔日 是日方疝痢漸快、五ツ時頃二起、是日  
方終日かやすあみニ来ル、起止録調、入払帳調  
理等、障子張、昼後方井佐も障子張手伝、  
間ニ髪結、暮ニ仕廻、夜井佐去、寝、

二日 六ツ時過二起、役所江出、取次式人、  
口書式通、夕七ツ半頃二帰、多田殿江悔ニ  
行、庭徘徊等、夜寝、

三日 五ツ時頃二起、隣家遠田江一寸行、丹  
羽椎溪江行、暫咄、直ニ四ツ時過方役所江  
出、口書清書為談合等、昼後九ツ時二済帰、  
直ニ梅村十郎左衛門方江浦野庄兵衛廿九日  
病死ニ付悔ニ行、直ニ圀橋方江寄暫咄、八  
ツ時過二帰、障子張、間ニ遠田屋来、咄去、  
七ツ時過方稼亭来咄、夕方連而丹羽江行、  
圀橋行あり、跡方山余も来、同咄、夜五ツ  
半過二帰、寝、

四日 五ツ時頃二起、終日反古しらべ等、間  
ニ午睡、八ツ時過方売烟翁来咄、七ツ半頃  
ニ去、晩方稼亭江行咄、圀橋行あり、端丈  
吉来、同咄、夜、端并圀橋追々去、同所ニ  
而溜浴、将棋八番、夜九ツ半過二帰、寝、  
五日 五ツ時頃二起、多田逸次郎ころり病氣  
ニ付見廻ニ行、毛利二逢、暫咄等、小川江  
一寸寄、留守、直ニ中惣江寄、暫咄、齋判  
江行、暫咄、昼前二帰、是日前月廿三日と同様  
之旨ニ而昼飯前也、昼前方井佐来、終日障子  
張手伝、晩ニ井佐去、髪結、夜齋判来咄、  
将棋三番、跡ニ咄、五ツ半頃ニ去、寝、  
六日 六ツ時過二起、役所江出、取次式人、  
口書式通、是日留守中井佐来、長屋障子張  
行事、夕七ツ半過二済帰、直ニ稼亭江寄、  
咄、将棋式番、夜五ツ半頃二帰、モ寝、

<sup>24</sup> 大隅守＝長連恭のこと。万延元年に従五位下大隅  
守に叙任されている。

七日 六ツ時前二起、稼亭誘二来、続而山十誘二来、六ツ過二皆連而北袋助右衛門方江行、同人先達二而こけ探、八ツ時前二又助右衛門方江来、家来共二又々こけ為探、三人連而湯涌江行、余三度入湯、一杯吞帰、一ノ瀬二而日暮、松火為出、途迷、右松火又消、漸々二とろく江着、同所二家来皆待居ル、松火式本為出、銚子口二而又休、暫ク置提灯ともし、夜八ツ時頃二帰宅、こけ汁二いたし食いたし寝、是日口書清書為読合三同役所江出候得共、兼而相頼置不罷出事、多田久太郎養母病死二付留守中兩度案内有之、妻忌中二相成事、

八日 四ツ時頃二起、終日道具方附、人來用意等、間二小川来、暫咄、山十来、同暫咄、八ツ時頃二皆去、七ツ時頃方同苗四郎兵衛久太郎、庄藏、壮三郎、藤次郎追々二来、小太郎忌中不参、十三郎兄弟縁者二不幸有之由二而不参、断、例之弁当会にやつこ并鮎焼出ス、夜五ツ時頃二皆去、子供兩人宅二残、妻多田江行、夜八ツ時頃二帰二付暫咄、寝、

九日 四ツ時頃二起、嘉六江戸方帰由二而來、暫咄去、昼後長屋ノ障子油引等、起止録調、入払帳しらべ等、髮結、金田八左衛門来咄、七ツ半頃方多田久太郎留守江同人養母当七日二病死之悔二行、夜食多田本家方来ル由二而逢馳走、夜五ツ時前二帰、寝、

十日 五ツ時頃二起、永井来、暫咄去、中惣江行、暫咄、多田逸次郎見舞二行同人一昨日夜重病二相成由、直二瀧沢永五郎江行、暫咄同人昨日筆箭番加人□□、直二桜井彦太郎江行、暫咄、植松江寄、留守同人今日江戸詰被仰渡候よし、昼後帰、起止録調、井口方入払帳等しらべ等、板坂二郎大夫江行井口方勝手銀子引送来月又指越筈、暫咄等、七ツ時方直二近藤鋼作江行、基三番打、晚二帰、夜斎判江行、将棋式番、咄、五ツ半過二帰、寝、

十一日 五ツ時頃二起、井佐来、暫咄、五ツ半頃二去、中惣江行、咄、直二植松江寄、留守、直二四ツ半頃二多田江行、同人今日御引足知三拾石拝領二付、普為聴紙面調手

伝等、道割等永井、山十、中惣も跡方来、同手伝等、八ツ時過二帰、山十、中惣宅江来、祝義物肴せい鯉五本買調等、永井も誘二来、暫咄、服改皆連而七ツ時過方又多田江行、祝義祝□、夜六ツ半頃二帰、山十宅江寄、暫咄去、寝、

十二日 五ツ時頃二起、藏宿根縮状等調、遠田清大夫江出ス紙面長冊調、昼後起止録調、溜浴二行、帰、髮結、七ツ時頃方多田久太郎養母中陰逮夜二付行稼亭、圀橋并児玉淳吉、多田鯛之助亭主代り来ル、夜五ツ半頃二帰、寝、十三日 六ツ時頃二起、役所江出、是日磯野、脇坂検使出役、磯部、内藤見合二而寄付余一人二付、割符所方中惣をかへ二承、取次四人、口書式通内式ツは見届指図□□之事、是日筆箭番当分加人辻安兵衛江被仰渡、夜六ツ時過二済帰、一杯吞、寝、

十四日 五ツ時頃二起、大工来、図り方等示談等、四ツ時前方多田逸次郎方江悔二行、直二役所江出、口書清書為読合、磯野与余式人迄、昼後九ツ半頃二帰、御触留いたし等、小川誘二来、連而毛利茂八郎江行、基四番打、夜咄、斉藤左次馬來、同咄、九ツ時過二帰、寝、

十五日 五ツ時頃二起、食後斎判江行、咄、四ツ時過二帰、庭之木老本為植替、青柴草為刈等、昼前後又御触留いたし起止録調、暫休眠、八ツ半過方西坂先生四十九日逮夜二付行中平、大嶋、永山平太、前後追々参着、同咄等、先生江戸道中之詩作并画等披見いたし等、夜五ツ時過二帰、寝、

十六日 五ツ時頃二起、敷地屋来、暫咄等去、入払帳しらべ等、検使留読等、昼前二髮結、昼後植松江行、留守、越久江寄、植松餞別之料理方詮義等、直二永井江行、咄、晚二帰、続而中惣江行、咄、夜四ツ時頃二帰、寝、

十七日 五ツ前二起、学校江出、講書聴聞一色寛右衛門、孟子告子上篇也、直二役所江出、寄日、九ツ時過二帰、直二圀橋方江寄、暫咄、直二本光寺江参詣、上人与基五、六番打等、七ツ時前方春日江行、玉葛地、柏崎



□□神戸八郎大夫・知左衛門式番詰、晩二帰、夜瀧沢江行、暫咄、帰、寝

十八日 六ツ時過二起、越久江一寸寄、料理申付、役所江出、取次八人、口書宅通、御請書宅通、是日又磯野、脇坂検使、昨夜方出役、役所中引揚二候得共、直様取引、磯部見合、内藤与余也、中惣加人二来ル、生熊左源太、水野金大夫是日同役被仰渡、七ツ時前二済帰、永井江一寸寄帰、起止録調、人來用意等、七ツ半頃方永井來咄、植松來、続而瀧沢來、植松餞別旁同人江馳走いたし、夜四ツ時過二皆去、モ寝、

十九日 五ツ時頃二起、道具方附等、食後、忌中見廻旁、堀馬左衛門江行、暫咄、植松江一寸寄、帰、昼方丹羽権溪江行、留守中圪橋一寸來ル由、長談、是日方お脇ま仕事手伝二来ル、夕七ツ半過二帰、直二大島江行、道仙行あり、同咄、夜四ツ時頃二帰、天神町蕎麦店江寄、大盛三杯給、帰、寝、

廿日 五ツ過二起、敷地屋來、米通附遣等シ等、斎判江行、咄、四ツ半頃二帰、起止録調、上納方書物等色々しらべ等、八ツ半過方稼亭來、将棋三番、間、毛利茂八郎來、同咄、稼亭先二去、道仙來、同咄、間二一寸水野金大夫、生熊左源太來去、晩二毛利去、永井來、暫咄去、夜道仙去、寝、

廿一日 五ツ時過二起、朝之内旧起止録しらべ、字引繰等品々、昼後髪結、永井江一寸寄、多賀源介殿江忌中見舞二行、直二青木多聞江見廻二行、暫咄、磯部他次郎江見舞二行、暫咄、晩二帰、続而瀧沢江行、植松、永井行あり、植松餞別之相伴逢馳走、咄等、夜四ツ時前二帰、寝、

廿二日 五ツ時過二起、桜井彦太郎湯涌入湯之上湯御礼書附等草案等被頼罷在二付、右しらべ方いたし等、朝之内風呂二行、昼前二帰、風邪氣二而昼後寝、夕七ツ過方水野金大夫來、起、為聞合方等、晩二去、夜寝、是夜磯部他次郎(掠れ・細字につき判読不可)、

廿三日 五ツ時頃二起、斎判江行、暫咄、

隣家遠田隠居様ころり<sup>25</sup>病死之由二付行、山口他平、水野金大夫行あり、紙面并書附等手伝いたし、昼後八ツ時過二帰、土田二門前二而逢、暫咄、続而永井江一寸行、直二瀧沢江行、暫咄、帰、晩方永井江行、植松、瀧沢も來、植松之餞別相手咄等、夜五ツ半過頃二帰、風邪氣二而風邪葉吞寝、

廿四日 終日風邪二而一先起、又寝、間二昼後近藤鋼作來咄、夕去、西坂成一郎挨拶二來、逢、夜寝、

廿五日 四ツ時過二起、植松之奥様今朝ころり病死之由申來、罷越呉様使來二付、風邪氣押而植松江行、途二一寸中惣江寄、植松二而書附文面等并江戸詰明廿八日発足之図り之所、日延御達方、会所小札返上方等相談いたし等、昼後八ツ半頃二帰、又寝、七ツ時頃方小川來咄、間二髪結、夜蕎麦振舞等、咄、四ツ半頃二去、寝、

廿六日 六ツ時過二起、風邪漸快、役所江出、御聞届内膳殿<sup>26</sup>御出座、昼頃二御聞届済、磯野助之進割符才許江転役、余検使御用御指省之所、御用先刻二加り候様被仰渡、瀧沢永五郎筆筭番本役、青木多聞四日方出勤二付、定役願いたし置、取次老入、口書宅通、外二式通直し等、晩二済帰、山十來咄、夜四ツ半頃二去、寝、

廿七日 五ツ時頃二起、入払帳しらべ、起止録調、水野金大夫來、暫聞合セ等、去、四ツ時頃方役所江出、口書清書為読合等、昼後九ツ半頃二帰、直二圪橋方江寄、暫咄、直二山十江行、碁三番打跡二咄、晩方中惣來、同咄、夜九ツ半頃二帰、寝、

廿八日 五ツ時頃二起、眠氣少々、不快、眼薬付等、斎判江行、暫咄、牢死見届申來二付帰、添紙面いたし青木江遣シ等、昼後暫休、八ツ半頃方水野金大夫江一寸行、植松江行、暫咄等、生熊左源太江一寸行、稼亭江寄、留守、七時方役所江出、牢死見届帰、

<sup>25</sup> ころり＝コレラのこと。文久二年、金沢では八月下旬より大流行した。

<sup>26</sup> 内膳殿＝奥村直温のこと。加賀藩年寄役(八家の一家奥村家)支家十三代当主。

直二磯野江一寸行、磯部江寄、暫咄、土田江寄、暫咄、晩二帰、斎判来あり、夜咄、五ツ前二去、寝、

廿九日 五ツ時頃二起、斎判江行、暫咄帰、中惣来、暫咄去、検使留読等、牢死見届申来添紙面青木江遣シ、昼後庭徘徊、起止録調等、髪結、七ツ時前々稼亭江一寸寄、留守、七ツ時頃方役所江出、牢死見届、直二圀橋方江行、同所今日長屋建前祝、稼亭も行あり、同咄、夜四ツ時前二帰、寝、

## 九月

朔日 五ツ時頃二起、遠田屋来咄去、桜井彦太郎江一寸行同人一昨日八日湯涌入湯方罷帰出勤之事、小川江一寸寄、留守、堀馬左衛門江見廻二行、暫咄、昼後帰、起止録調、質物札しらべ方等、七ツ時頃方水野、生熊来、聞合方等、晩二去、続而植松江行、同人亡妻中陰逮夜、夜五ツ時過二帰、寝、

二日 六ツ時過二起、佐野屋江遣ス證文調、役所江出、右添紙面調、取次老人、桜井代二出ル二付、口書直し等、夜六ツ時過二済帰、直二圀橋方江法事二行、夜五ツ半頃二帰、モ寝、

三日 五ツ時頃二起、質札しらべ言付等、風呂建あり風呂、御触留いたし等、四ツ半時頃方役所江出、口書清書為読合、昼後九ツ半頃二帰、直二丹羽椎溪江行咄貰、祭馳走二逢、七ツ時頃方直二木下江祭二行、将棋三番、跡方田中九八郎并稼亭来、同咄等、夜五ツ半頃二帰、モ寝、

四日 五ツ時頃二起、是日妻五ツ半過方圀橋方江祭二行留守、青木多聞来、聞合セ方等、昼頃二去、質札しらべ上ケ等、入払調理等、起止録調、七ツ時過方甚右衛門暫留守二置圀橋方江祭二行、咄、夜六ツ半頃二帰、妻等八ツ時前二帰、寝、

五日 五ツ時頃二起、寄日二付人来用意等、四ツ時過方桜井、青木、水野、生熊追々来、寄日岡検使糺方并口書等全仕上ケ、晩二皆去、間二井佐来、暫咄去、其間二髪結、夜寝、

六日 六ツ時過二起、役所江出、脇坂見合、取次三人、口書式通、外二口書宅通調、四通直し、法話一件拾六組有之、山十、磯野加人二来ル、

七日 曉六ツ時頃二役所済帰、寝、昼後九ツ半過二起、庭徘徊等、食後斎判江行、咄、晩方小川も来、同咄、夜四ツ時頃二帰、寝、八日 五ツ時過二起、起止録調、四ツ時前々役所江出、口書清書為読合、四、五通文面直し等、七ツ時二仕廻、直二丹羽江寄、暫咄、七ツ半前々中久江行、同姓会、中壮、中庄、中小、中十、中藤、中四追々二来、中守指懸り無扨障入二付不参、色々咄、夜五ツ時頃二帰、モ寝、

重陽 五ツ時前二起、行歩用意等、四ツ時頃方丹羽椎溪誘二来、暫咄、せかれも連而土清水山辺江遊行是日頭痛氣之所、昼後方追々快探菌等、晩二帰、夜寝、曉七ツ時前二衣服御改革之急廻状到来、留いたし送り等、又寝、

十日 風邪并頭痛難義二付、役所江口書清書為読合等可出所頼遣、昼後起、是日妻等觀音院等江参詣留守、又寝、晩二皆帰、食後夜寝、

十一日 頭痛、色々不致、五ツ半頃二起、桜井彦太郎来、聞合セ方等、暫咄去、昼前二去、昼後又休、生熊、水野来、不逢、夜蕎麦給い、寝、

十二日 五ツ時頃二起、風邪等少々快、斎判来咄、昼前二去、子供皆留守モ起止録調、昼後つる大豆もき等、八ツ時頃二青木多聞来、昨夕公事場附御用定役被 仰付旨、暫咄等、去、入払調理等、八ツ半時頃方木下平之介来咄、将棋式番、間二斎判、水野金大夫来、水野先二去、斎判、木平将棋中髪結、夜咄、五ツ前二斎判去、又将棋四番、四ツ時過二去、寝、

十三日 六ツ時過二起、役所江出、取次九人、口書宅通、御請書宅通、外二口書三通直し等、是日生山頼太郎同役加人被仰渡、夕七ツ半頃二済帰、丹羽江一寸寄、暫咄、七ツ半過二帰、御触留いたし、晩二生山頼太郎

来、暫咄等去、夜遠田屋喜兵衛来、咄、五ツ過二去、モ寝、

十四日 四ツ時頃二起、水野、生熊来、聞合等咄、昼後去、大野作見屋七右衛門来、暫ク咄いたし去、質札帳面しらべ等、七ツ時頃方永井江一寸行、留守、植松江行、咄等、夜五ツ時前二帰、寝、

十五日 五ツ時前二起、永井江一寸行、暫咄、小川江一寸行、暫咄帰、步行用意等、四ツ時前方丹羽誘、圪橋誘、皆連而宮腰堀内兵次跡江行、同所二而昼飯認等、間ニ米屋次右衛門江行、寸甫言付等、湯所菊見物等、五郎嶋江廻り、神主方之菊見物いたし、途ニ而日暮、夜六ツ半時頃二帰、寝、

十六日 五ツ時頃二起、生山頼太郎来、示談方等去、永井江行、暫咄帰、風呂立あり溜浴、昼後牢死見届申来、送紙面いたし等、髮結、八ツ時過方圪橋方江行、暫咄、青木多聞江行先日同人定役之節罷越挨拶等、岡検使ニ生熊、水野行あり、口書直し等、七ツ半頃二役所江生熊連而罷出、牢死見届、直ニ福田道仙江祭二行、不破元太郎、圪橋行あり、跡方永井様与力肝煎も来り、咄等、逢馳走、夜四ツ時前二帰、モ寝、

十七日 五ツ時前二起、学校江講書聴聞ニ出豊嶋安三郎、食色□之章、直ニ稼亭江一寸寄、役所江出、寄日、又岡検使口書直し等、昼後帰、圪橋方江一寸寄、本光寺江参詣、圪橋行あり、上人与暫咄、八ツ半前方春日江行、斎判与吉野静知左衛門誦、武源之丞来、とほる判大夫誦、余脇誦、跡ニ咄等、晩ニ帰、夜香村金左衛門来、大野醬油屋縁談之義ニ付咄等色々咄、夜四ツ時過二去、寝、十八日 六ツ時過二起、役所江出、取次老人奥州警手郡盛景大烟菊地屋おふ品再度之札、右吟味方会得不致二付、段々申諭、漸日暮頃会得いたし候事、口書老通、外ニ願之趣引取書老通調、夜四ツ時頃二済帰、寝、

十九日 五ツ時過二起、役所江出、口書清書為読合、岡検使書附老通調等、昼後八ツ時二帰、直ニ脇坂江同人老母大病之見廻二行、不逢申置、辻安兵衛江行、留守、永井江一

寸寄、留守、七ツ時頃二帰、水野金大夫来、聞合セ方等咄、七ツ半頃二去、妻義圪橋方江一寸行、留守、せかれ等ニ絵書遣シ等、晩方永井来咄、続而斎判来、同咄、夜四ツ時前二妻帰、九ツ時前二永井、斎判去、寝、廿日 五ツ時過二起、起止録調等、髮結、昼後小川来、暫咄去、永井江行、一寸寄、七ツ時前頃ニ圪橋方江寄、連而上下着用、坂井平六江当十八日六人扶持之所、此度新知五拾石ニ被申付二付、祝義旁咄二行、森善治も来、同咄、色々馳走、夜五ツ半頃二帰、寝、

廿一日 五ツ時頃二起、庭みそがたけこぎあミ等、昼後大野醬油屋縁談之治定ニ来、咄、七ツ時前二去、永井江一寸寄、暫咄、山十宅江来二付、呼ニ来、帰咄、なまず振廻、夜四ツ時頃二去、寝、是夜安ま泊ル、

廿二日 五ツ時頃二起、井佐来、縁組咄、五ツ半頃二去、水野金大夫来、聞合セ方等、四ツ時頃方連而会所江出、地廻会所銀受取中村他左衛門江頼先ニ帰事、昼頃大島江一寸寄、帰、水野又来、聞合方等、小川来、同咄、七ツ過二皆去、溜浴二行、晩ニ帰、夜坂坂二郎大夫方江示談方二行、五ツ時頃二帰、寝、

廿三日 五ツ時頃二起、小川誘ニ来、連而丹羽誘、圪橋も同所江来、四ツ時過方白山参詣、鶴来ニ而休、夜五ツ時前二帰、溜浴二行、帰、寝、

廿四日 四ツ時前二起、髮結、井佐来咄、昼後碁式番打、間ニ桜井来、同咄、碁式番打、七ツ時頃二皆去、続而隣遠田清大夫江行同人昨夕江戸表方帰着、妻之大病之図ニ而帰由、斎判行あり、同咄、晩ニ斎判連而帰、暫咄、夜近藤鋼作方呼ニ来、六ツ半過方行、杉山小川嫡子行あり、咄、逢馳走、四ツ時前二帰、寝、

廿五日 五ツ時頃二起、お脇ま大野江長拝二行、四ツ半頃方水野、生熊来、聞合セ方等、昼後八ツ時頃二去、続而青木多聞来、聞合セ方等、七ツ時頃二去、先是毛利茂八郎来咄、碁老番、大野方馳走来ル、夜五ツ半頃

二去、モ寝、

廿六日 六ツ時過二起、近藤鋼作江一寸寄、役所江出、取次老人、口書壱通菊地屋おふ品也、今日先日之引取書之趣吟味有之、夫々合得いたし候事、夕七ツ半過二済帰、直二中惣与山十江行、植松、瀧沢、辻、磯野も行、中惣獲物之鮭壱本料理、咄等、夜四ツ時頃二帰、寝、

廿七日 五ツ半頃二起、生熊来、聞合セ等、岡検使書付壱通調、昼去、井佐来、咄等、七ツ時前二去、起止録調、夕水野金大夫江一寸行、直二矢部虎之助江一寸寄、留守、直二溜浴二行、晩二帰、夜寝、

廿八日 風邪氣二而四ツ時頃二起、又休、昼後齋判来咄、桜井来、同咄、七ツ過方稼亭来、齋判、桜井去、夜五ツ時前二齋判又来、同咄、四ツ時過二稼亭、齋判皆去、寝、

廿九日 風邪氣二而昼九ツ時前二起、生熊一寸来去、昼後岡検使之名書二付、節用操等、八ツ時過方桜井来、聞合セ(綴じ目につき判読不可) 昼前□□□方水野金大夫江一寸寄、暫咄、八ツ時過方直二生熊江行、岡検使、青木、桜井行あり、口書式通調、三通直し等、七ツ半過方齋判連而稼亭江行、咄、夜九ツ時頃二帰、寝、

## 十月

朔日 五ツ時頃二起、御意之趣二付、廻状いたし等、友子ニ源氏温習為致等、昼後小川来、暫咄去、起止録調、阿部、富永、鳥山、細野江先日被召出之祝義二一寸行、畑七郎左衛門江同断行、小謡等、齋判父与山銀、鈴木庸太郎、桑島安左衛門同咄等、夜四ツ半頃二帰、寝、是夜お覺馬走風の、下地齋竹力為察等、

二日 六ツ時過二起、役所江出、取次老人、口書半分調候所江宅方お覺大病二相成旨申越、昼前二帰、直様端丈吉、小柳元洪江行、紫雪買、昼頃二帰宅、圪橋来、暫咄去、小柳来、端丈吉来、山十、植松、桜井、生熊、

齊藤津左衛門見廻二来、晩迄二追々去、昼之内方おぼゞ来、是日方泊り、夜大島奥様来、看病等、四ツ半頃二去、

三日 曉八ツ時前二お覺病死、七ツ時前方暫休、六ツ時過二起、永井来、暫咄等、五ツ前二去、生熊、齋判、桜井追々二来、遠方行書附并病死案内紙面等調貰、昼前二皆去、小川、奥山、圪橋、山銀、中惣、木平、稼亭、齋津、お貞様、本光寺所化信善来去、中他、又齋判、植松、又圪橋、追々二来去、夜又小川、井佐来咄等、四ツ時過二小川去、大島奥様来、泊り、九ツ時頃二井佐去、寝、

四日 五ツ前二起、早川権大夫来去、葬礼用意等、是安屋助三郎来咄、齋判来、同咄、是安屋去、七ツ時頃二入棺、右前二齋判奥様等来、暫咄等去、生山土(外)佐吉来去、七ツ半頃方齊藤津左衛門来、瀧沢一寸来、晩二同松五郎も来、夜六ツ時前二迎僧・小僧来、齊藤津左衛門跡縮、大島稼亭来、夜六ツ半過二齋津、同松帰来、暫而去、四ツ時頃二齋判去、四ツ半頃二稼亭去、寝、

五日 五ツ時頃二起、本光寺所化信善来、おぼゞ志二而一部経読、七ツ時頃二去、間二朝之内山十、磯野来、暫咄、間二圪橋一寸来去、磯野去、生熊来、山十与同暫咄山十二明日方出勤之書付調貰等、生熊去、続而山十去、桜井来、暫咄去、七ツ時前二辻安兵衛来、暫咄去、夕おぼゞ帰宅、夜寝、

六日 役所見合、昼九ツ時頃二起、齋判来、暫咄去、七黒村五郎右衛門来、咄去、間二生熊一寸来去、夜齋判又来咄、桜井来、野々市検使出役聞合セ方等、続而青木多聞来、右同断、桜井去、四ツ時頃二青木去、九ツ時前二又桜井来、聞合セ方等、九ツ過二齋判去、寝、

七日 五ツ時頃二起、毛利来、暫咄去、昼頃髪結、福田道仙来、暫咄、七ツ時過二道仙連而宅を出、余、本光寺江参詣、晩二帰、検使所方問合セ之紙面到来、瀧沢江行、示談、同所江中惣も跡方来、同咄等、夜五ツ時頃二(綴じ目につき判読不可)

八日 五ツ過二起、中陰逮夜、人來用意等、

齋判江一寸行、火鉢等借来、馬渕順八、間二一寸来去、四ツ半頃方本光寺上人、圮橋来、同咄等、昼後八ツ時過二皆去、引続本光寺所化信善来、七ツ時過二去、土田、生熊、間二人々一寸来去、間二遠田清大夫来、暫咄去、木平、齋判遠田屋、是安屋右向人晚二去、永井、毛利来、夜五ツ時過二皆去、大島奥様来、夜去、漏浴二行、帰、寝、

九日 今朝雪降、四ツ時過二起、是日家内皆本光寺江参詣、独留守いたし居、七ツ時頃二桜井、今命昼頃検使引揚之由二而来、暫咄去、色々書物并入払帳しらべ等、夜五ツ時頃二家内帰、漏浴二行、帰、寝、

十日 五ツ過二起、桜井来、境御閑所二変死人、又検使被仰渡由二而聞合セ方等、去、せかれ連而上田玄伯江行、留守、帰佐野屋江遣ス切手調等、佐野屋江行、留守、青木多聞江行、桜井も行あり、検使取捌方示談等、八ツ時頃二直二磯野江行、暫咄、佐野屋江行、又留守、土田江一寸行、又佐野屋江行、米掛方言付等、大島江寄、留守、道仙跡方来、同咄、晚二帰、永井江寄咄、夜六ツ半頃二帰、漏浴二行、帰、寝、

十一日 五ツ時過二起、入払しらべ等、炭持来、算用いたし等、齋判江火鉢返済いたし等、是日 若殿様御帰国<sup>28</sup>、せかれ疱瘡氣味歟、七ツ時前方山十江寄、暫咄、直二本光寺江参詣、帰二買物いたし、七ツ半過二帰、生熊来、野々市検使袋披見等、夜六ツ過二去、余留守中玄白来由、夜せかれ二菓為吞等、漏浴二行、帰、寝、

十二日 曉七ツ時前二起、日吉大明神江参詣、帰、又休、五ツ過二起、入払帳算用等、井佐来咄、玄白来去、昼過井佐去、髪結、坂二郎大夫来、長談、間、端丈吉来、診察等、暫咄去、晚二板坂去、中惣江行、田辺皆右衛門行あり、同咄等、鮭振舞二逢、跡方植松平左衛門来、同咄、夜五ツ過二帰、漏浴二行、帰、寝、

十三日 六ツ半頃二起、中惣誘二来、連而役所江出、出揃日、此間検使青木等出役之節、示談方相違之趣有之紙面調、余一足早帰、直二青木留守江行、奥泉二逢、飛脚出し方相談等、昼後九ツ過二飛脚言付帰、直二端丈吉江一寸寄、留守、イスカ坊来あり、帰多田権七郎、瀧沢、伴、植松、北川、中惣、山銀江一寸、皆先日方之挨拶等二一寸行、帰植松ニ遠長之門前二逢、連而帰、暫咄等去、起止録調等、入払調理等、夜上田玄伯来去、又起止録調、漏浴二行、帰、寝、

十四日 五ツ時過二起、玄白来、遠田奥様見廻二来、暫咄去、玄白之菓取二行、ウニコウル<sup>29</sup>入赤菓買帰、昼頃方小川来咄、七ツ時前二去、遠田清大夫来咄、夜六ツ過二去、菓為吞等、漏浴二行、帰、御触留いたし、起止録調、又菓為吞等、寝、

十五日 五ツ過二起、齋藤御新造様来、暫咄去、玄白来去、奥山一寸来去、昼前二小川江一寸行、江間之菓并八十島権三郎宅聞合等、直二八十島江一寸行、帰、遠田屋来咄去、看病等、七ツ時頃二（綴じ目につき判読不可）

晩二来、二七日逮夜之読経いたし、夜六ツ過二去、行灯二赤紙張等、六ツ半前方永井江行、中他、小川行あり、同咄、鮭等振舞二逢、夜五ツ時頃二八十島宅江来二付、帰、小川も来、示談等、菓福久屋江買二遣シ等、五ツ半頃二八十島去、四ツ時前二小川去、検使被仰渡、生熊江添紙面いたし遣等、続而生熊来、書附披見等、九ツ前二去、寝、

十六日 曉八ツ時頃二起、髪結、又暫休、七ツ半頃二生熊誘二来、連而西町町屋久右衛門方検使宿二着、続而御門前松原町江行、死骸等見分、朝六ツ半頃二検使宿江帰、夫々手前相糺、口書五通物書二為調、見届書直し等、紙面割場江遣し等、八ツ半過二検使引揚帰、留守中玄白来去、漏浴二行、帰、生熊一寸来去、夜六ツ時過二端丈吉来、診察之上咄等、齋判来、同咄、五ツ時前二端

<sup>28</sup> 是日若殿様御帰国（後の十四代藩主）前田慶寧が江戸より金沢へ帰着した。

<sup>29</sup> ウニコウル＝疱瘡の薬

去、四ツ時過二齋判去、寢、

十七日 四ツ時前二起、役所江出、寄日脇坂清

太郎当十五日忌御免、磯部他次郎昨夕御咎御免也、

九ツ半頃二帰、福田道仙来、咄等、是安屋

助三郎来、同咄、間二玄白来、暫咄等、去、

七ツ時頃二道仙等皆去、七ツ半頃小川来、

酒式升持参、咄、夜九ツ時過二去、寢、

十八日 五ツ前二起、永井江一寸寄、役所江

出一足遅参頼置事、取次三人、口書三通、外

二宅通直し等、夜六ツ時頃二済帰、端丈吉

来、暫咄等、去、そば給、五ツ半頃二寢、

十九日 四ツ時頃二起是日若御前様江戸御着與、

起止録調、入払帳しらべ等、御触留いたし、

毛利茂八郎等見廻二来去、夕七ツ時頃中

惣、小川来咄、齋判来、同咄、夜中惣去、

是夜せかれ指引有之、上田玄白之弟子一寸

来去、九ツ半頃二齋判去、続而小川も去、

寢又起看病等、又寢、

廿日 六ツ時過二起、玄白江行、同人昨日

不快之由二而不逢、八十島権三郎江一寸行

帰、端丈吉江紙面調遣、生熊来、役所口書

清書為読合頼遣、役所江不出、又玄白江一

寸行、不逢、帰、齋判来、暫咄去、福久屋

江行、経氏解毒飲為調合帰、昼後小川来、

暫咄去、暫而又小川来、医書持参、暫咄去、

桜井来、暫咄去、又小川来、暫咄等去、八

十島権三郎来、診察等去、山銀庭迄来、暫

咄去、井佐来咄等、余一寸又福久屋江行、

帰、又小川来去等、夕端丈吉来診察等、井

佐、八十島方薬取来、又小川来、同咄等、

端去、山十、中惣来、同咄等、犀氏取懸

薬せんし等手間、遠清残り咄、夜九ツ半頃二

ツ時前二皆去、遠清残り咄、夜九ツ半頃二

去、寢又起看病等、又寢、

廿一日 五ツ時前二起、井佐来、高崎江行貫、

早川権大夫一寸来去、小川来、暫咄等去、

井佐高崎方帰、咄等、青木多聞来、暫咄等

去、昼前二去、続而中惣来咄、間二大工長

次郎来去、中惣七ツ時前二去、植松来咄等、

瀧沢来、同咄、同人先二去、高崎正親老人

来、診察いたし去、間、齋判来、植松去、

晩方小川来、同咄、山十来、同咄、井佐来、

同咄等、夜八十島来、診察等、同咄、先二  
去、永井来、同咄、夜九ツ半頃二皆去、寢  
せかれ頗快、

廿二日 五ツ過二起、齋判来、暫咄等去、青

木口添之医者岩崎某来、診察去、小川来、

暫咄去、桜井来、咄去、木下平之介来、中

惣来、端丈吉来、診察等、暫咄去、稼亭来、

同咄、中惣去、晩方中村他左衛門来、稼亭

来、去、夜齋判来、同咄去、夜四ツ時過二

中他去、九ツ過二齋判去、起止録調寢、

廿三日 四ツ時過二起、せかれ二葉為吞等、

昼後（綴じ目につき判読不可）間二齋判一

寸来去、（八十島権三郎来去、土田去、七

ツ半過方生山頼太郎方昨日呼二来二付行、

咄合等、夜齋判来、同咄等、六ツ時過方直

二齋判江行、咄、逢馳走、井佐来去由、四

ツ時過二帰、寢、

廿四日 昼後八ツ半頃二起、小川来、咄、夜

六ツ半頃二去、咄等、起止録調、五ツ半頃

二寢、

廿五日 五ツ時頃二起、生山外佐吉来、同人

兄出勤方聞合セ等、去、植松江行、咄、昼

前二帰、友子又熱有之看病等、桜井彦太郎

来去、入払帳調理等、生山頼太郎一寸来去、

夜永井江行、暫咄等、帰、友子之看病等、

四ツ時頃二寢、

廿六日 是日役所見合頼置、四ツ時頃二起、

鱈片身買料理為致等、昼後八ツ時過方齋判

来、小川来、同咄、七ツ時前二齋判去、小

川二聖堂銀上納書物等調貫、八十島権三郎

来、兩人診察等、暫咄去、遠田屋来、同咄、

夜去、七ツ半過二端丈吉来、兩人診察等、

暫咄圮橋方二此朝男子出生之由、咄承去、間二植

松、瀧沢、中惣一寸来去、桜井、生熊一寸

来去、夜五ツ時過二小川去、看病等、寢、

廿七日 五ツ過二起、小川来、暫咄去、早川

隠居様見廻二来、咄去、昼後起止録調等、

入払しらべ等、明日進士江簀借二遣ス紙面

調等、生山頼太郎一寸来去、八十島来、娘

診察いたし去、夜看病等、寢、

廿八日 昼前二起、昌庵江免眼水買二遣シ等

右無之求不出来、昼後、小川一寸来去、看病

等、八ツ半頃方齋判来、続而又小川来、同咄、夕七ツ半過二皆去、八十島来、風呂ふき振舞等、暫咄去、夜看病等、四ツ半頃二寝、

廿九日 五ツ過二起、看病等、昼後圮橋来咄、間二青木多聞一寸来去、七ツ時頃二去、齋判一寸来去、生熊来、暫咄去、夕八十島来診察等、暫咄、夜去、続而齋判又来咄、五ツ半頃二去、寝、

## 十一月

朔日 五ツ時過二起、遠田奥様見廻二来、暫咄去、四ツ時過方小川来咄、八ツ時過二去、是日せかれ老番湯引<sup>30</sup>、髪結、生熊誘二来、中惣来、暫同咄、七ツ半前方役所江出、牢死見届、直二圮橋方江行、鷹之助七夜祝、咄稼亭、平之介、道仙、半左衛門等、夜五ツ過二帰、八十島来去由、寝、

二日 六ツ時過二起、佐野屋江遣ス切手調等、中惣誘二来、連而役所江出、取次式人、口書式通、外二引取書老通、口書直し等、夜六ツ時前二済帰、留守中井佐来咄去由、齋判方松五郎元服祝之酒等来あり、一盃吞、夜四ツ時前二寝、

三日 四ツ時頃二起、瀧沢一寸見廻二来去、御触留いたし等、看病等、昼後九ツ半頃方磯部来、咄等、齋藤判来、同咄等、七ツ時頃二兩人共去、続而毛利茂八郎来咄、中惣来、酒等持参、同咄、夜齋判又来、同咄、八十島来、同暫咄、齋判去、永井来、同咄、八十島去、四ツ半頃二毛利等皆去、寝、

四日 五ツ半頃二起、風呂建あり漏浴、起止録調等、昼後入払帳しらべ等、小川来咄、間二本光寺雇所化たち日之読経二今日来、読経いたし去、齋判来、小川与同咄、植松来、同咄、八十島来診察等、暫同咄、夜皆去、看病等、五ツ過二寝、

五日 五ツ半頃二起、桜井来、暫咄去、髪結、九ツ時過方内藤江行、寄日、御用談、七ツ時二仕舞、直二香林坊下書林江行絵本千文

字一冊買求、唐津屋江行、徳利等品々買求為持、七ツ半過二帰、端丈吉来あり咄等、六ツ時過二去、早川江一寸行、齋判江行咄、夜九ツ時過二帰、寝、

六日 六ツ時過二起、役所江出、取次老人口書老通、外二引取書老通、口書式通直し等、七ツ半時頃二済帰、続而山十来咄、小川来同咄、夜齋判来、同咄、蕎麦振舞等、夜九ツ時前後二追々皆去、寝、

七日 四ツ時過二起、二宮銀三郎、有岡条人兩人今日公事場附御用被仰渡候旨二而来、聞合セ方等、昼頃去、絵本読等、御触留いたし等、七ツ時過方桜井聞合セ方等、夜六ツ過二去、絵本読等、寝、

八日 五ツ時頃方大工来、色々云ヒ附方等いたし去、昼前二起、昼後道仙来咄、七ツ過二畑春齋来、診察去、夜六ツ時頃二道仙去、夜寝、

九日 五ツ前二起、堀大庵江行、直二小山良左衛門江行、暫咄、昼前二帰、昼後有岡条人来、咄等去、間二圮橋来咄、八十島来、診察いたし去、七ツ半頃二堀昌庵来、診察去、稼亭来、咄、晩二圮橋去、夜九ツ時頃二稼亭去、寝、

十日 五ツ時過二起、小山良左衛門来、診察等、暫咄等去、入払帳しらべ等、青木多聞来咄等、昼頃去、二宮銀三郎来、暫咄等去、植松一寸来去、八ツ時頃方小川来咄、七ツ半頃二去、是日遠田方土産物来ル、起止録調、有岡条人来、咄等、晩二去、生山頼太郎一寸来去、夜、七黒五郎右衛門来、咄等、五ツ頃二去、寝、

十一日 四ツ時頃二起、小川来咄、齋判来同咄、かふと目懸等、昼前二皆去、大工久右衛門来、指図等、間二御触留いたし等は日方銀札構、百四貫文錢ハ八貫文錢、三貫文之白銀等式貫文三相成、脇坂清太郎一寸来去、七ツ時過二堀昌庵来、村崎来、兩人共診察いたし去、晩方八十島来、診察、跡二暫咄、夜六ツ半前二去、寝、

十二日 四ツ時前二起、桜井来咄、二宮、有岡来咄等、右兩人先二去、昼頃桜井去、昼

<sup>30</sup> 老番湯引川疱瘡が完治した時に酒湯を浴びる。



後小川一寸来去、木下平之介来、咄、跡方  
齋判来、同咄、晚二皆去、夜、溜浴二行、  
帰、髪結、五ツ半頃二寝、

十三日 七ツ半過二起、六ツ時前二役所江出、  
是日御馬廻組津田平丞十六ヶ條、同人養兄同右兵  
衛十二ヶ条、本組与力五十嵐辰次郎、横山藏人与力  
酒井知大夫十二ヶ条、

四人吟味有之、余、五十嵐拾八ヶ条主付、同  
夜五ツ時頃二口上書下物出来、十四日、曉  
天迄二清書全出来右ハ留書所ニ而調筆、同役之内手  
伝いたし事、同日五ツ半頃方七ツ時過迄富田  
殿<sup>31</sup>与本多殿、一一御丸江被出、七ツ過方口  
上書為読聞判形印しゆ等、十五日、曉天七  
ツ時過二本多凶書<sup>32</sup>方御預人受取二来、津  
田右兵衛を縮駕籠ニ乗セ連行、引続中川式  
部<sup>33</sup>方同断、酒井知大夫連行、引続成瀬内  
藏助<sup>34</sup>方同断五十嵐連行、又引続津田玄蕃<sup>35</sup>  
方同断津田平之丞連行、昼九ツ時過二役所  
済帰、暫眠、小川平太郎来咄、間二堀大庵  
来、診察去、七ツ半頃二小川去、溜浴二行、  
晚二帰、夜寝、

十六日 昼前二起、磯部他次郎御格指控被仰  
付廻状来ル、昼後齋判来咄、夕七ツ半過二  
去、続而圪橋方江行、直三郎髪置、稼亭、  
平之介行あり、同咄、夜四ツ時頃二帰、寝、  
十七日 四ツ時頃二起、是日役所寄日□□、  
有岡、生熊来咄等、昼後去、起止録調等、  
七ツ時頃方溜浴二行、帰髪結、夜モ寝、

十八日 六ツ半二起、役所江出、取次三人、  
口書老通、外ニ式通直し等、七ツ時前二済  
直二□□篠原殿、鈴木殿、進士、林助大  
夫御宅江悔旁馬渕、大島、丹羽、山十江行  
咄、夜四ツ時頃二帰、モ寝、

十九日 昼前二起、二宮一寸来去、溜浴二行、  
帰、妻里江一寸行、小川来咄、七ツ前二去、  
起止録調、七ツ過方中惣来、しつぽく持参  
咄等、夜五ツ半過二去、妻六ツ時頃帰、四

ツ時頃二寝、

廿日 昼前二起、作見屋七右衛門来、暫咄等、  
去、昼後八ツ時頃より青木江行、寄日、跡  
二脇坂、余、桜井、生熊、二宮、有岡残り  
咄、逢馳走、夜五ツ半頃二帰、寝、

廿一日 四ツ時前二起、圪橋来咄、昼頃去、  
是日団子拵、昼後齋判江行咄、夕同所江水  
野金大夫来、同咄、熊煮逢振廻、夜五ツ前  
二帰、溜浴二行、帰、寝、

廿二日 四ツ時頃二起、二宮来、有岡来、聞  
合セ方等、昼後八ツ時前二去、続而生熊聞  
合セ方等、夕青木多聞来、同咄、晚二皆去、  
小川来咄、夜本光寺所化恭隆来、四十九日  
之読経いたし暫咄去、夜九ツ時頃二小川去、  
寝、

廿三日 昼前二起、起止録調、是日方中惣伝  
授之小瘡まじない薬用、一日三度宛之事、  
昼後髪結、品川殿寒見廻勤、直二辻宅右衛  
門、永井、近藤、早川、中他、堀栄、遠清、  
奥山、山銀、北川、中惣、堀馬左衛門、小  
川、植松江寒見廻等二行、晚二帰、毛利茂  
八郎来、暫咄去、夜、謡、隅田川クリ等、  
四ツ時頃二寝、

廿四日 五半頃二起、小瘡薬附等、昼九ツ過  
方越久江一寸寄、内藤誘、暫咄、連而脇坂  
江行、岡検使、同役何茂行あり、口書等直  
し等色々咄、晚方同所江辻安兵衛来、余并  
桜井残り咄、外ニ斎藤義之助、原銀之助来  
あり、同咄、夜五ツ過二帰、小瘡薬附等、  
寝、

廿五日 五ツ半頃二起、桜井来、聞合セ方等、  
間二小瘡薬附、起止録調等、昼後植松昨日  
小児病死之悔二行、暫咄等、直二畑七郎左  
衛門、伴鉄五郎留守、村田宇左衛門、生熊  
左源太、猪俣、山伝、斎藤左次馬、毛利茂  
八郎、二宮銀三郎江寒見廻等行、晚二帰、  
薬附等、夜齋判来、暫咄去、夜咄等、寝、  
廿六日 曉八ツ時頃ニ妙立寺出火之由、又眠  
七ツ半過二起、薬附等、六ツ時頃方役所江  
出、是日御刑法斬罪もの拾人有之、内梟首

31 富田殿 公事場奉行富田貞詳。

32 本多凶書 本多政醇。

33 中川式部 中川典惲。

34 成瀬内藏助 成瀬当信。

35 津田玄蕃 津田正邦。

式ツ、奉行六半時揃、御間届播磨守殿<sup>36</sup>御出座、退出後ためし、夜六ツ時前二済、常吟味もの式組有之、口書老通直し等、夜六ツ半時頃二帰、寝、五ツ過頃二中惣来、檢使書附聞合セ方等、暫咄去、寝、

廿七日 五ツ半過二起、御用使来、檢使被仰渡、有岡江紙面遣等、西川兵大夫檢使一件二付、聞合セ方等二来、有岡来、同咄等、昼迄二追々二去、昼後髮結、御触留いたし等、有岡八ツ時過二誘二来、八ツ半頃方連而檢使所寺町承證寺<sup>37</sup>江行、名書取立、死骸兩人の見分いたし帰、夜手前夫々相糺、町奉行紙面遣、町役人共等手前相糺、廿八日曉六ツ時過頃迄二妙立寺口上書老通仕上ケ物書二夫々口書仰書二致等、昼前二夫々清書迄も出来、昼前後口上書判形等見届等、見届書清書八ツ時頃迄二全仕舞、八ツ半過二檢使所引揚、七ツ半頃二帰宅、脇坂清太郎宅江来由(綴じ目につき判読不可)生熊到来、暫咄、小川来、同咄、晩生熊去、五ツ過二小川去、寝、

廿九日 五ツ半過二起、二宮、有岡来、聞合セ等咄、昼頃皆去、妻半日本光寺等江行留守、青木多聞入代リニ来咄等、圀橋来、暫同咄去、続而又二宮、有岡、桜井来咄等、人々絵書等、青木先二去、桜井等晩二皆去、夜妻帰、寝、

晦日 昼前二起、昼後起止録調、皆済状調等、檢使留いたし、七ツ時過二斎判来、暫咄去、夜帰、五ツ時頃二寝、

## 十二月

朔日 四ツ時過二起、大字屋源兵衛来咄、昼頃去、昼後髮結、有岡、二宮来、聞合セ方等、七ツ過二去、佐野屋江遣ス紙面調等、七ツ半頃方圀橋方江行、咄、夜六ツ時過二帰、直二丹羽椎溪江行、咄、夜九ツ時過二帰、寝、

二日 六ツ時過二起、役所江出、取次老入、

<sup>36</sup> 播磨守殿 加賀藩年寄役(八家の一つ本多家十一代当主本多政均)。

<sup>37</sup> 寺町承證寺 法華宗の寺。

口書老通松本景斎、津田平之丞二件之者□式ニケ条有也、外ニ口書老通直し等、晩二済、夜六ツ時前二帰、夜咄、寝、

三日 四ツ時過二起、勤方帳面しらべ等、昼後九ツ半過方伴鉄五郎咄二来、夕七ツ半前二去、斎判来、暫咄去、夜小川来咄、九ツ時過二去、寝、

四日 五ツ半頃二起、是日すゝ払、道具方付等、昼後頼母子会触紙面等調等、風呂立あり漏浴、斎藤奥様・御新造様等風呂二入ニ来、夜六ツ時前方有岡条人来、聞合セ方等咄、五ツ過二去、咄等、寝、

五日 四ツ時過二起、終日頼母子会触遣スケ所調理、入払帳しらべ等、端丈吉江薬札等遣シ等、夕七ツ過二三田村半助人数帳聞合セニ来、暫咄去、起止録調理、昼後髮結、晩方早権、永井、富永か成之紙面言伝、森嶋、猪俣江頼母子会触紙面、夜六ツ時過二帰咄等、夜五ツ過二寝、明朝御弘<sup>38</sup>有之二付式日相止廻状来、又寝、

六日 四ツ時前二起、生熊来、聞合セ等、昼前二去、起止録しらべ等、三吉ニ頼母子会触為持遣等、謡クリ等、七ツ頃方斎判来咄、晩二去、起止録調、夜、謡クリ等、五ツ過二寝、

七日 四ツ時過二起、御触留いたし等、昼頃方七黒村五郎右衛門来、同人先達而方願一件、昨日埒明由ニ而挨拶二来、暫咄去、二宮、有岡来、聞合セ方等、七ツ過二去、先是小川来、同咄、山十来、同咄、道仙昼後方来あり、夜稼亭来、又同咄、何茂四ツ時頃二去、寝、

八日 五ツ半前二起、森嶋守人来、暫咄等去、終日檢使留いたし等、入払帳しらべ等、晩二起止録調、夜咄、寝、

九日 昼前頃二起、昼後生熊来、聞合セ方等、(綴じ目につき判読不可) 小川来、同咄、遠清来又同咄、生熊去、七ツ過二小川、遠清去、半紙巻墨入り墨坪ニ入障子つゞくり等、七ツ半過二坂宇、永井来咄、晩二去、

<sup>38</sup> 御弘 おひろめ、披露。

続而越久江行、頼母子会、夜四ツ時頃二済  
帰、寝、

十日 小瘡難義、昼後八ツ時頃二起、起止録  
調、頼母子銀子等しらべ等、夕七ツ半頃  
山十来、森嶋江頼之趣等、跡二咄、夜蕎麦  
振舞等、九ツ時前二去、寝、

十一日 昼前二起、昼頃二宮、有岡来、聞  
合セ方等、七ツ半過二去、間二頼母子懸銀  
受取書調筆等、晩方山十江行咄、熊并鯨振  
舞二逢、夜五ツ半頃二帰、寝、

十二日 六ツ時過二起、餅つき、斎判方津  
左衛門、松五郎、外男、斎判も来、手伝等、  
間二森嶋一寸来咄去、余餅直し等、昼方井  
佐も来、手伝、中惣之家来喜作等来、少々  
手伝いたし去、夕七ツ半頃二済、跡二一杯  
吞等、津左衛門、井佐残り咄、夜、瀧沢来、  
同咄、津左衛門去、六ツ半頃二皆去、モ寝、

十三日 五ツ時前二起、役所一足頼置、髪結  
こう葉張等、四ツ時頃二役所江出、是日御  
聞届、播磨守殿<sup>39</sup>御出座有之、四ツ過二退  
出、吟味もの拾八組斗、余取次二不出、口  
書四通後見等、内式拾五ヶ条斗之分有之、  
夜六ツ過方九ツ時頃迄後見等、

十四日 曉六ツ時前二済帰、寝、昼後八ツ半  
過二起、頼母子調理等、七ツ過方斎判来咄  
等、連而遠田江一寸寄、山本伝太郎江行是日  
同人本宅江引移検、坂井伊大夫、中村他左衛門、  
山本銀之助、猪俣条太郎等、同咄、夜五ツ  
過二帰、斎判宅江寄、井佐来あり、かき餅  
あミ罷在、同咄、五ツ半頃二斎判眠、九ツ  
時頃二井佐去、寝、

十五日 五ツ半過二起、役所一足頼置、頼母  
子寄銀しらべ等、かう葉張等、四ツ半過方  
早権江一寸寄、役所江出、口書清書為読合、  
九ツ半過二仕舞、帰、直二稼亭江行、暫咄、  
丹羽江行咄、七ツ半頃方圀橋方江寄、同人  
連而西坂成一郎江今日跡目御礼祝二行、夜  
六ツ半頃二帰、又圀橋方江寄、暫咄、帰、  
モ寝、

十六日 是日役所清書為読合二助合頼不参、  
疔痢難義、昼頃二起、こよみしらべ、起止  
録調等、八ツ時頃方中惣来咄、七ツ過二去、  
七ツ半頃方伴江行、暫咄、村田宇左衛門江  
行、暫咄等、南清五郎江寄、桜井彦太郎江  
見舞二行、暫咄、夜六ツ時頃二毛利江行、  
留守、直二小川江行、北川七十郎、三田村  
半助来あり、跡方伴来、同咄、偶然鯨振舞  
二逢、夜四時過二帰、モ寝、

十七日 五ツ過二起、髪結、四ツ時過方役所  
江出、寄日、九ツ半頃二済帰、直二稼亭江  
寄咄、八ツ半頃二帰、永井江一寸寄、留守、  
帰、続而永井来咄、桜井方うさき貫、右永  
井江振舞等、晩二永井去、続而毛利江行咄  
等、夜四ツ半頃二帰、モ寝、

十八日 五ツ時前二起、役所江出、出揃日、  
棒稽古等、昼後八ツ過二済、富田殿江一寸  
見廻二寄、帰、暫休、七ツ前方中惣誘二来、  
連而田辺長養稽古見舞二行、脇坂、中惣、  
田辺皆右衛門方二而暫咄、七ツ半頃帰、直  
二早川浅之丞江寄、暫咄等、長屋勘左衛門  
江行、暫咄等、山本伝太郎江先日之挨拶二  
行、晩二帰、夜寝、

十九日 六ツ時過二起、役所江出、是日不時  
相立吟味もの八組、取次老人、口書老通、  
外二口書老通、口上書老通直し等、夜五ツ  
時過二済帰、一杯吞寝、

廿日 五ツ半頃二起、八十島江葉礼遣し等、  
起止録調等、役所頼置、昼頃方役所江出、  
口書清書為読合等、八ツ半前方直二西坂江  
一寸寄、留守、梅村江行、留守、申置、遠  
源江寄、留守、直二佐野屋江行、暫咄等、  
中四江寄、留守、中藤江行、暫咄等、木下江  
寄、暫咄、山十江行、暫咄、晩方連而宅江  
帰、昼鮒并鶉鳥振舞等、九ツ時過二寝是夜  
山十酔而泊り、朝六ツ時過二去事、

廿一日 五ツ半頃二起、頼母子銀子しらべ等、  
入札記帳いたし等、間二昼後九ツ過方八ツ  
過迄有岡来、聞合セ等、岡検使書附宅通調  
遣し等、起止録調等、夕七ツ半過方永井来  
咄、晩二去、夜モ寝、

廿二日 五ツ半頃二起、髪結、終日頼母子

<sup>39</sup> 播磨守殿 加賀藩年寄役(八家の一つ本多家の十  
一代当主本多政均。

入銀しらべ等、夕七ツ半頃方篠井江一寸寄、生山江一寸行、植松江行咄、碁三番打、夜九ツ時前二帰、モ寝、

廿三日 五ツ過二起、有岡来咄去、小川来、暫咄去、中惣来、暫咄去、昼九ツ時過方植松江一寸寄夜前公事場へ賊入由ニ而奉行衆并御横目、箆寄番兩人罷出候由、しかし不時始相立不申事、留守、生熊江忌中見廻行、暫咄、八ツ時頃方学校江出座、山崎稽古御見届<sup>40</sup>百七拾人斗出座有之、七ツ時前方直ニ内藤江寄、暫咄、竹中久之助江先日方両度迄来ル挨拶旁一寸行、直ニ遠田源之丞江行、留守、梅村江行咄、晩二帰、直ニ圀橋方江寄、暫咄等、夜丹羽権溪江行、山東甚兵衛、圀橋行あり、咄何茂兼約有之、年忘レ之図り、夜九ツ時頃二帰、寝、

廿四日 五ツ半頃二起、中惣江行、咄、直ニ瀧沢江行、暫咄、一杯呑、昼頃帰、山十江遣ス紙面調等、昼後中惣誘ニ来、連而小川権之助方鉄砲稽古所江行、瀧沢、植松も行、手続三篇稽古、晩二帰、植松、瀧沢、中西何茂宅江来、こまの油ニ而豆腐三丁あけ等、咄、夜四ツ半過二皆去、寝、

廿五日 五ツ半頃二起、森島守人一寸来去、井佐来咄、朝之内青木多聞来、暫咄去、間ニ妻本光寺江参詣等、道仙来、同咄、昼後八ツ時頃二井佐去、八ツ半前二道仙去、起止録調、頼母子銀しらべ等、七ツ過方斎判来咄、七ツ半頃ニ妻返ル、夜永井来、同咄、五ツ過二斎判去、九ツ半過二永井去、堀昌庵江遣ス包銀いたし等、髪結、八ツ過二寝、廿六日 六ツ時二起、役所江出是日斬罪者五人、ためし有之、吟味者老入、色々諸拵等指引いたし等、夕七ツ時過二済帰、直ニ稼亭江寄、忌中見廻、暫咄、七ツ半前二帰、永井江寄、暫咄帰、晩方斎判江行咄、夜四ツ半頃二帰、モ寝、

廿七日 五ツ過二起、猪俣衆太郎来咄等、五ツ半過二去、入払帳しらべ等、間ニ二宮、

<sup>40</sup> 学校江出座、山崎稽古御見届<sup>40</sup>藩武学校(経武館)で剣術稽古を見学した。豫卿は山崎門下である。

生熊一寸来去、昼後遠田源之丞来、咄等、斎判来、同咄、同人去、有岡来、同咄、遠源去、小川来、同咄、圀橋来、同咄、有岡去、又斎判来、同咄、小川、斎判晩二去、圀橋夜六ツ時前二去、六ツ半頃方中惣来咄、繕つぎ貴等、四ツ時過二去、頼母子銀子しらべ、入払帳しらべ等、夜八ツ時頃二寝、廿八日 五ツ時前二起、塩屋又右衛門来、咄等去、間ニ中惣一寸来去、風呂立あり漏浴、太神宮様を揚、障子つゞくり等、昼前二起止録調、切手調等、中惣又暫咄去、桜井来、暫咄去、七ツ過方山伝江一寸行、中惣江一寸寄、植松江一寸行、留守、帰、中惣連而磯野江行、途ニ余、佐野屋江寄、近江町ニ而するめ為買調、中惣、斎田甚八郎江行あり、又誘、連而磯野江行、夜六ツ時頃也、是日同人御射手被 仰付祝、咄等、夜五ツ過方直ニ中惣連而早川義三郎江行、同人は方拾俵御加増被仰付、小謡等、夜九ツ時過二帰、モ寝、

廿九日 五ツ前二起、終日払方しらべ等、間ニ猪俣衆太郎来、暫咄等去、山伝江一寸寄、七黒村五郎助来、咄、昼後去、大工来咄等、夕七ツ頃方七ツ半過迄かざりものいたし、畳屋小右衛門倅来咄等、七ツ半過方植松江行、暫咄、小川江行、暫咄等、中惣江行咄、蕎麦振舞ニ逢等、夜六ツ過二遠田江一寸寄、山伝江一寸行、一寸帰、続而稼亭江行咄等、決算方等、中十江一寸寄、明石源太郎江一寸寄、梅村江一寸行、留守、中村四郎兵衛江行、咄等、直ニ木町大井江行、梅村ニ逢、暫咄等、又稼亭江行、咄等、曉頃ニ中久江寄、亭主出、暫咄等、帰、植松江遣ス紙面調等、朝六ツ時頃也、不寝、